
easyHousing

環境設定マニュアル Windows8 編 第1.3版

2014年2月5日

日本電気株式会社

改版履歴

版	作成日	内容
初版	2013/03/06	<ul style="list-style-type: none"> 新規作成
1.1版	2013/08/07	<p>2.1 Windows ユーザの権限について 電子署名ライブラリ v1.02 に合わせて説明文を修正</p> <p>4.1 Internet Explorer の設定 以下の設定手順を追加</p> <ul style="list-style-type: none"> タブの「ポップアップの発生時」 詳細設定の「暗号化されたページをディスクに保存しない」 <p>5.1 JRE のインストール ダウンロードの説明文を一部修正</p> <p>5.2 easyHousing 電子署名ライブラリ 電子署名ライブラリ v1.02 に合わせて、以下を変更</p> <ul style="list-style-type: none"> 既存の手順を 5.2.1 電子署名ライブラリのダウンロードと 5.2.2 電子署名ライブラリのインストールに分割し、 説明文を修正 5.2.3 電子署名ライブラリのアップグレードを追加 (補足) Administrator 権限の追加・削除手順を削除 <p>5.3 Adobe Reader のインストール 手順の説明を URL のリンクに変更</p> <p>補足 1 必要ソフトウェアのアンインストール手順、補足 2 必要ソフトウェアの更新手順を追加</p>
1.2版	2013/10/30	<p>4.1 Internet Explorer の設定 拡張保護モードの設定手順を追加</p> <p>5 必要ソフトウェアのセットアップ 説明文を修正</p>

		<p>5.1 JRE のインストール JRE のダウンロード画面を変更</p> <p>5.2.1 電子署名ライブラリのダウンロード ログイン時の説明を修正</p>
1.3 版	2014/2/5	<p>対応ブラウザに IE11 の追加</p> <p>4.1 Internet Explorer の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> • IE11 に関する記載を追加 <p>5.1.1 JRE1.7 のインストール手順</p> <ul style="list-style-type: none"> • セキュリティ・プロンプト復元についての説明を追加

目 次

1 はじめに	2
2 利用者環境	3
2.1 Windows ユーザの権限について	3
3 電子証明書のインストール	4
3.2 電子証明書の削除	10
4 インターネットエクスプローラ	13
4.1 Internet Explorer の設定	13
5 必要ソフトウェアのセットアップ	24
5.1 JRE のインストール	24
5.1.1 JRE1.7 のインストール手順	26
5.2 easyHousing 電子署名ライブラリ	29
5.2.1 電子署名ライブラリのダウンロード	29
5.2.2 電子署名ライブラリのインストール	34
5.3 Reader について	42
補足 1 必要ソフトウェアのアンインストール手順	43
補足 1.1 Java アンインストール手順	43
補足 1.2 電子署名ライブラリ アンインストール手順	48
補足 2 必要ソフトウェアの更新手順	53
補足 2.1 Java アップデート手順	53
補足 2.2 電子署名ライブラリ アップグレード手順	57

1 はじめに

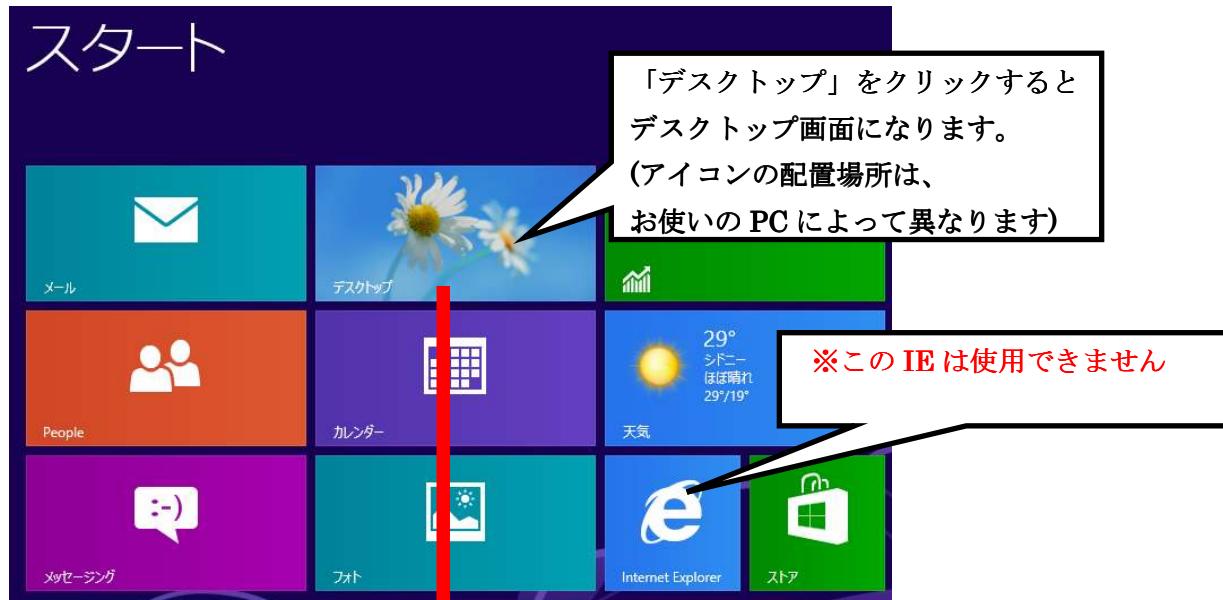
このマニュアルは、本サービス利用にあたり事前に準備が必要な項目を説明します。

- ・利用者環境の確認
- ・電子証明書のインストール
- ・インターネットエクスプローラー(IE)の設定
- ・必要ソフトウェア（電子署名ライブラリ、JRE）のセットアップ

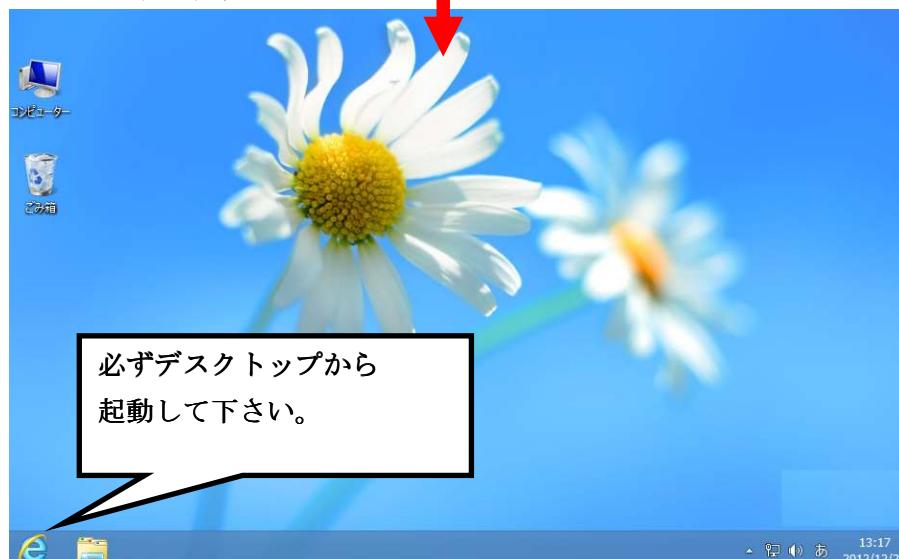
※このマニュアルは、Windows8 を対象としています。

また、easyHousing の各作業はスタート画面ではなくデスクトップ画面から行なってください。

スタート画面



デスクトップ画面



2 利用者環境

2.1 Windows ユーザの権限について

本サービスは事前準備の段階で、Administrator 権限が必要になります。

事前準備終了後、サービス利用時は Administrator 権限が無くても問題ありません。

電子証明書のインストール	Administrator 権限は不要です。
インターネット エクスプローラの設定	Administrator 権限は不要です。
電子署名ライブラリのインストール	Administrator 権限が無い場合、Administrator 権限を付与するか、インストール中に Administrator のパスワード入力が必要です。
JRE のインストール	Administrator 権限が無い場合、Administrator 権限を付与するか、Administrator 権限を持つ他のユーザからのインストールが必要です。

3 電子証明書のインストール

電子証明書のインストール手順を説明します。

※ 本作業は、発注処理・請負処理の契約行為を行う端末に必要な作業です。
参考するだけであれば不要です。

●用意するもの

- *1 「easyHousing 電子証明書」のCD-ROM
- *2 「証明書パスワード（PINコード）」を記載している葉書

※証明書を更新する場合、新しい証明書もインストールする手順は同じですが、

古い証明書を削除する必要があります。

(10 ページ『3.2 電子証明書の削除』を参照してください)

①電子証明書のCD-ROM (*1) をドライブにセットしてください。

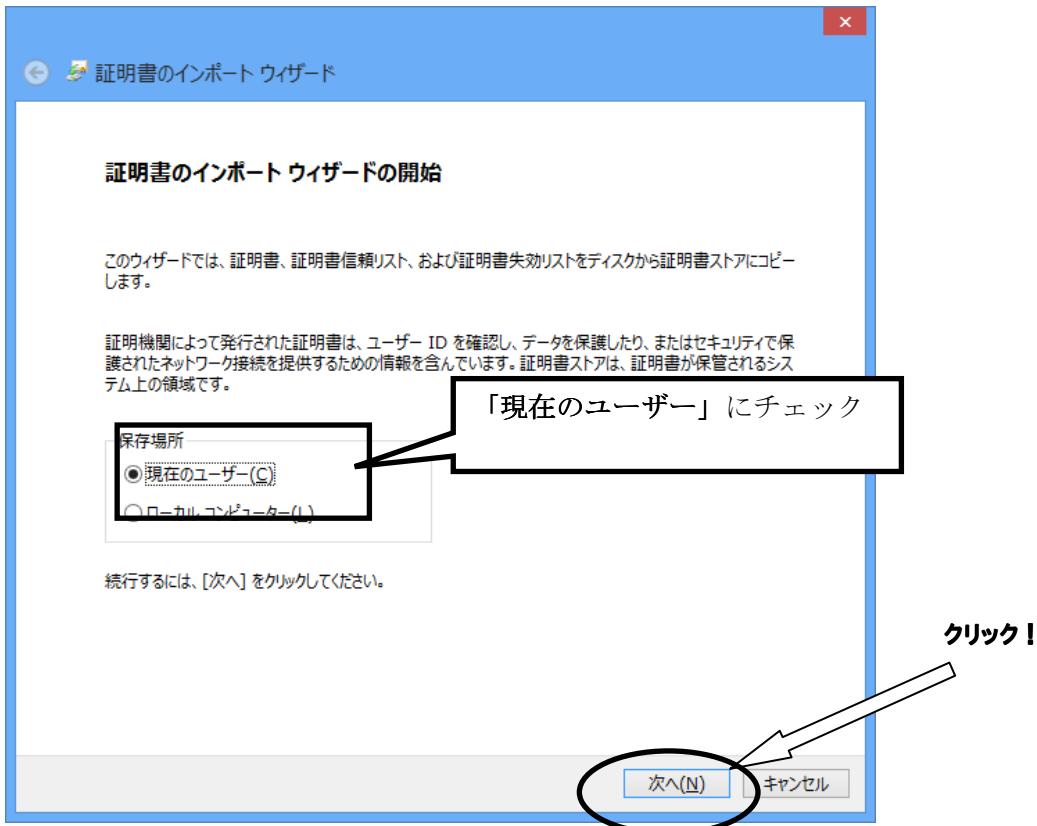
「CERT_xxxxxx.p12」をダブルクリックし、セットアップを開始します。

◆メモ◆

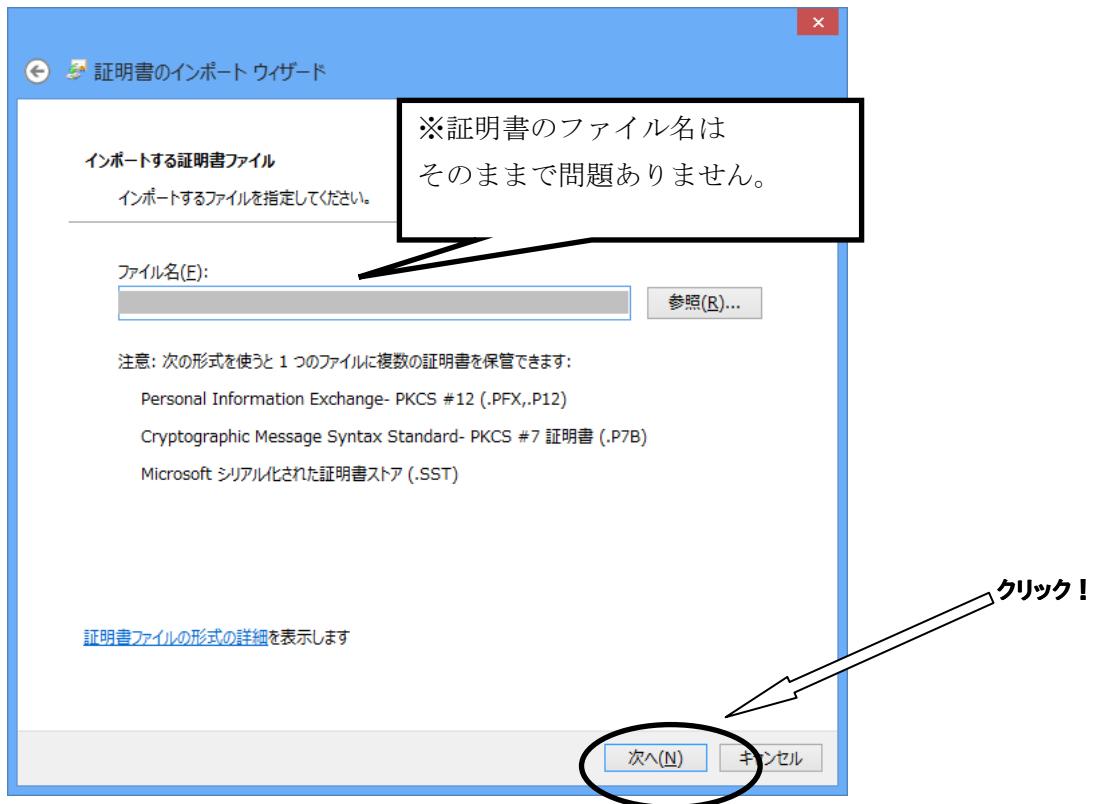
オートラン機能が有効なシステムでは、CD-ROM の内容が自動的に読み込まれ 下図の画面が表示されます。

オートランに対応していないシステムや、ファイルを指定してインストールする場合は、エクスプローラから CD-ROM ドライブを開いていただければ同様な操作ができます。

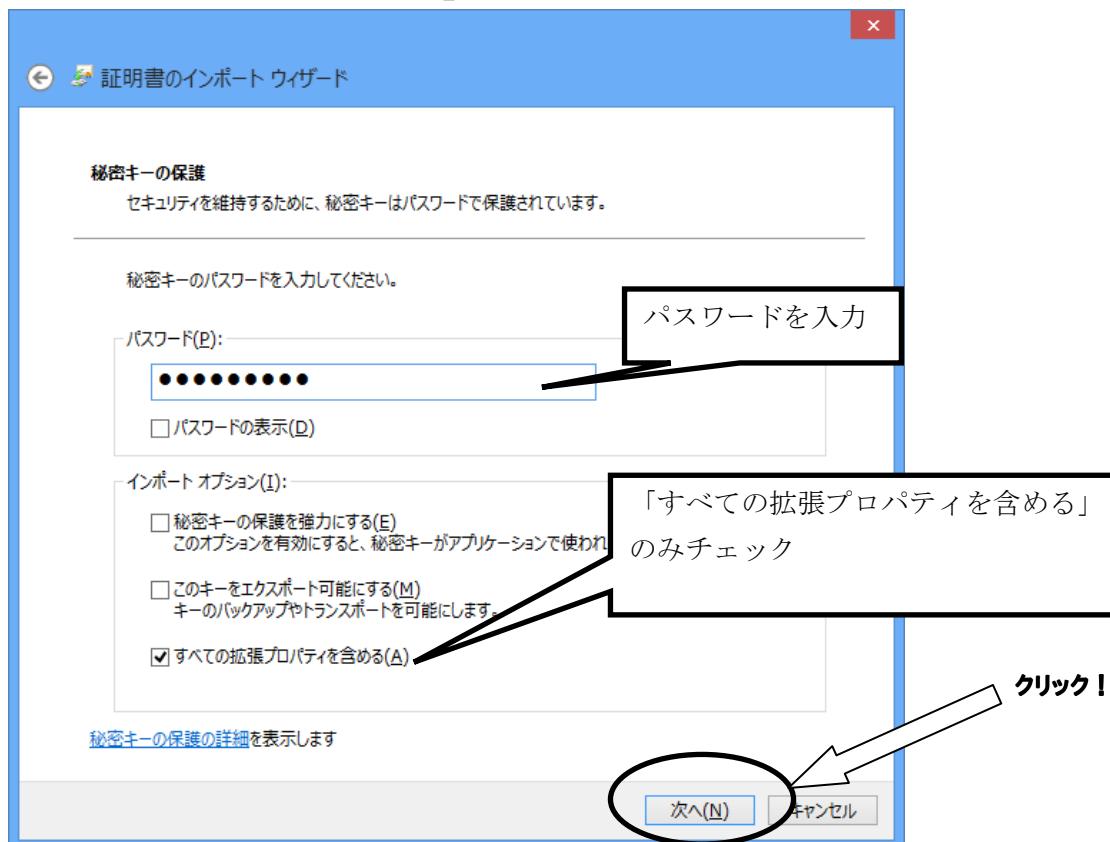
- ② 「証明書のインポート ウィザード」が表示されるので、「現在のユーザー」にチェックが付いていることを確認し、『次へ』ボタンをクリックします。



③ <インポートする証明書ファイル>画面が表示されます。『次へ』ボタンをクリックします。



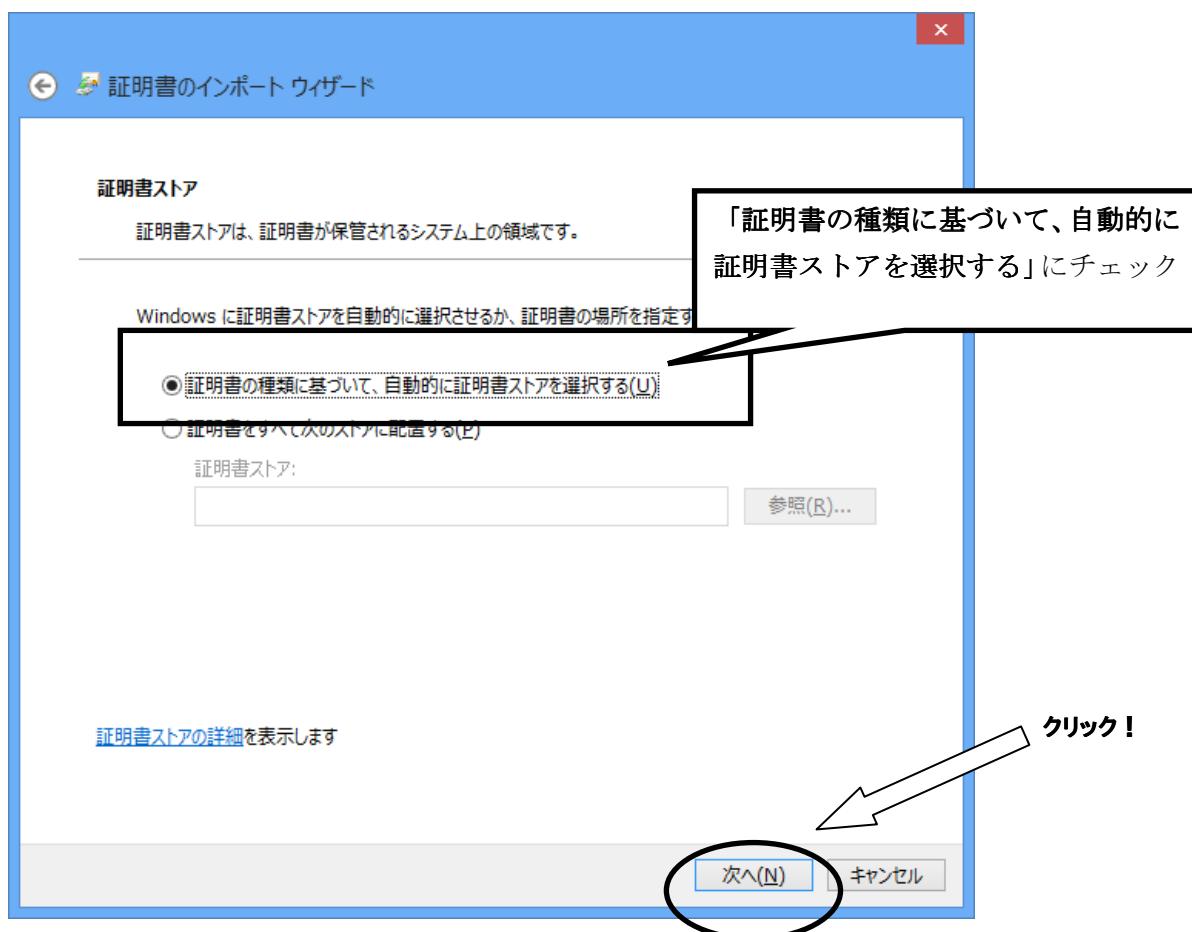
④ 「秘密キーの保護」画面で、「証明書パスワード（PINコード）」の葉書（*2）に記載されているパスワードを入力し、チェックボックスは「すべての拡張プロパティを含める」のみチェックされていることを確認し、『次へ(N)』ボタンをクリックします。



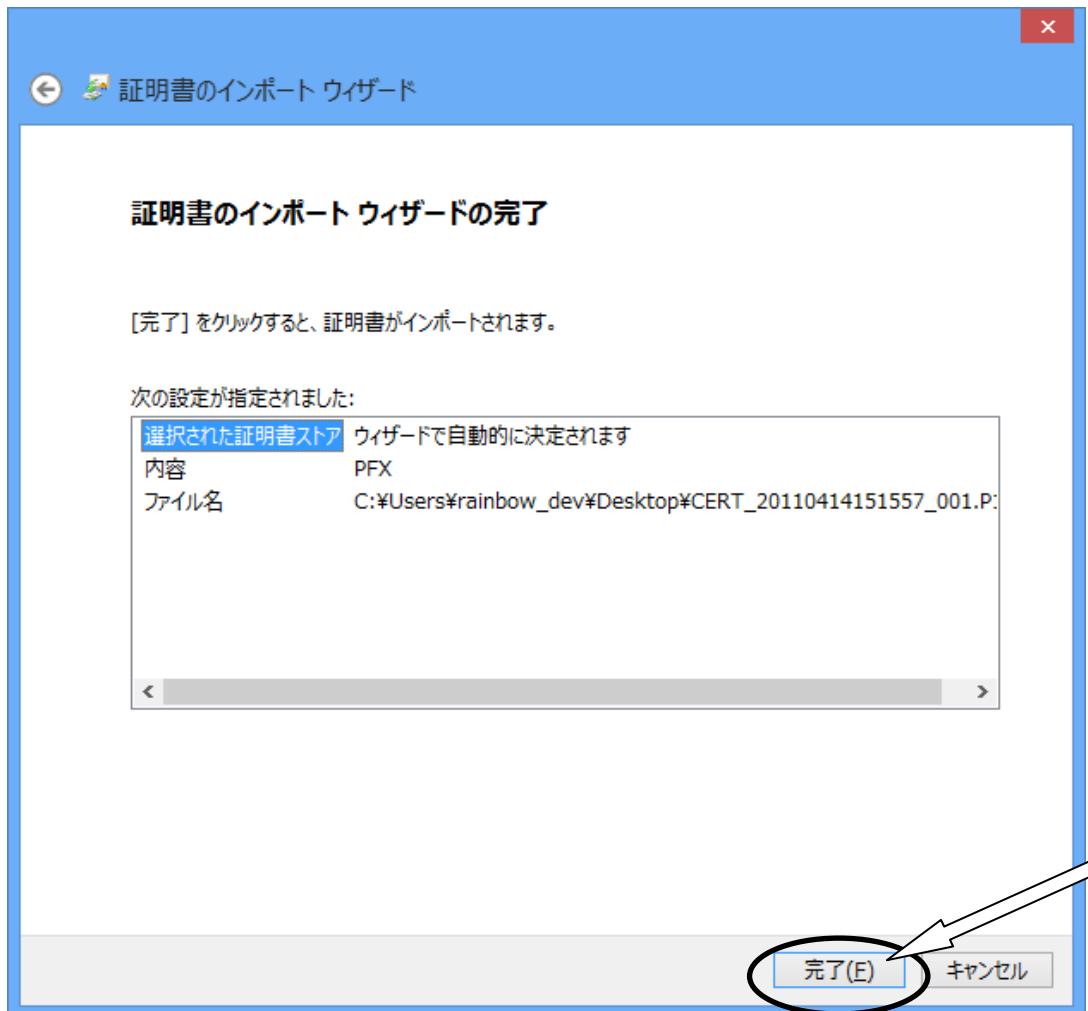
★注意★

- ・パスワードは「大文字」「小文字」を区別しています。葉書に表記されている通りに入力を行ってください。
- ・パスワードを打つと全ての文字が「●」で表示されますので、お間違えの無いように入力を行ってください。

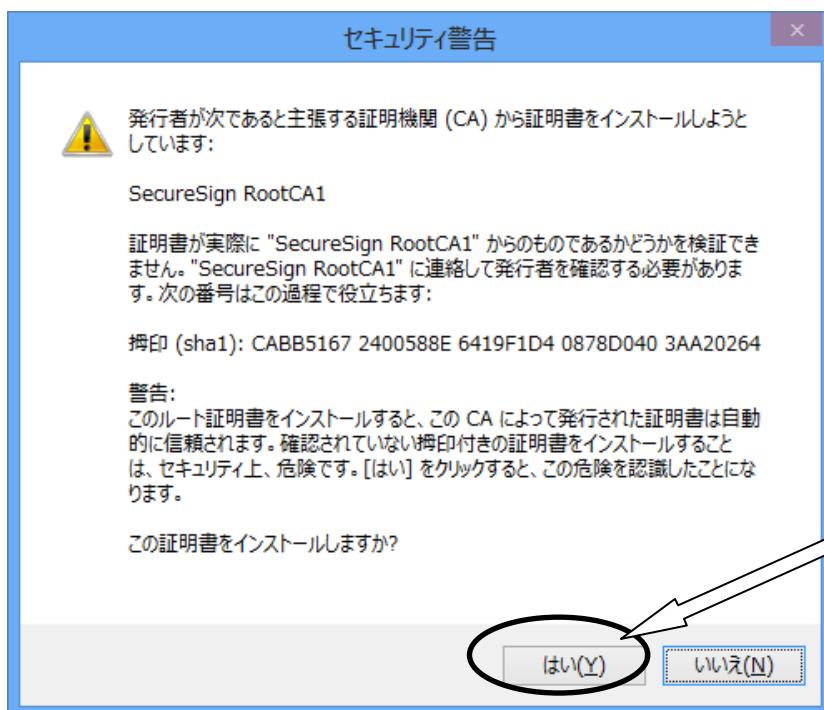
⑤<証明書ストア>画面では、「証明書の種類に基づいて、自動的に証明書ストアを選択する」を選択し、『次へ(N)』ボタンをクリックします。



⑥<証明書インポート ウィザードの完了>画面では、『完了』をクリックします。



※環境によっては、以下のような画面が表示される場合があります「はい」をクリックしてください。



★注意★

電子証明書の保管庫は Windows の証明書ストア “個人” になるので、発注/請負を行うには、
電子証明書をインストールした際のユーザー アカウントで Windows に
ログインしておく必要があります。

3.2 電子証明書の削除

easyHousing の証明書が複数インストールされている場合、easyHousing を利用中に以下のような画面が表示される場合があります。



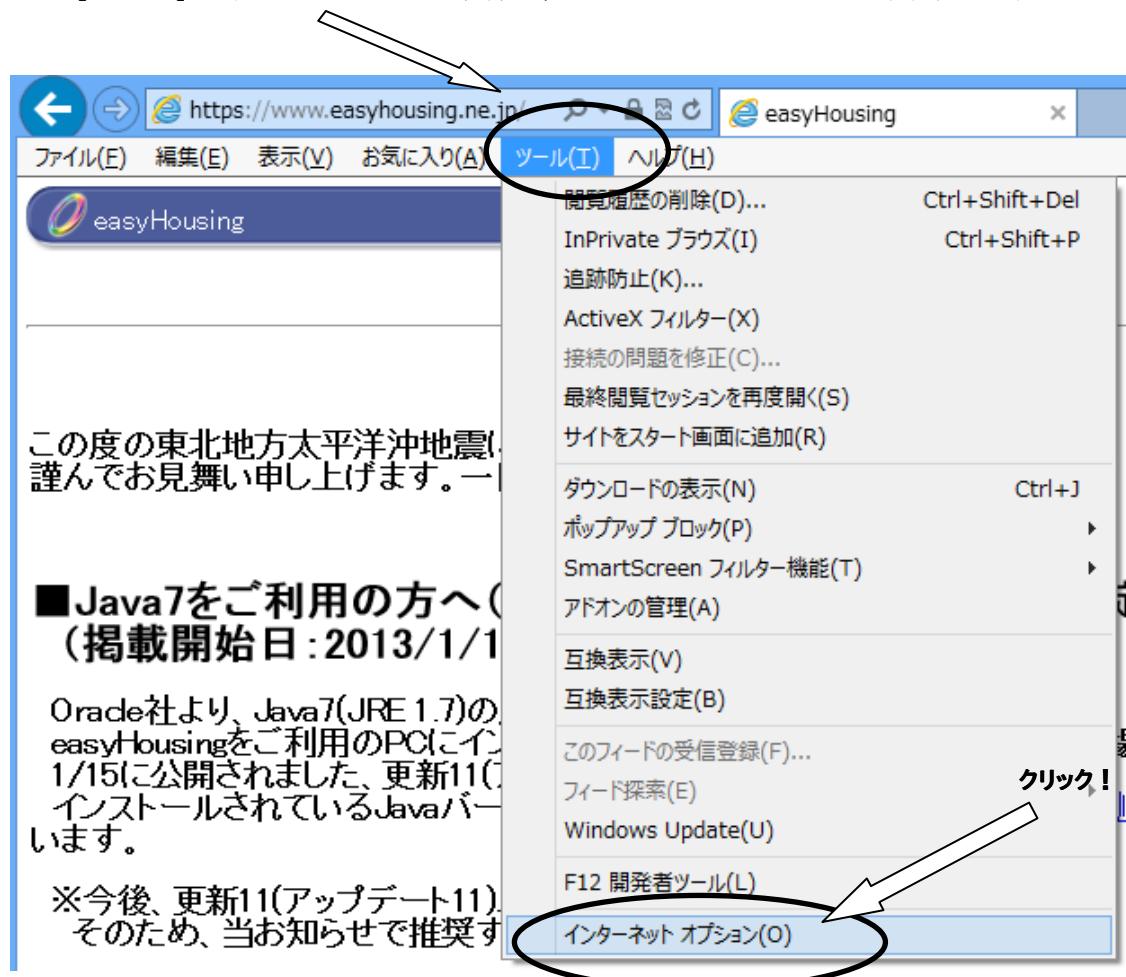
証明書更新後に残る古い証明書など、不要な証明書は削除をお願い致します。

削除の手順は以下になります。

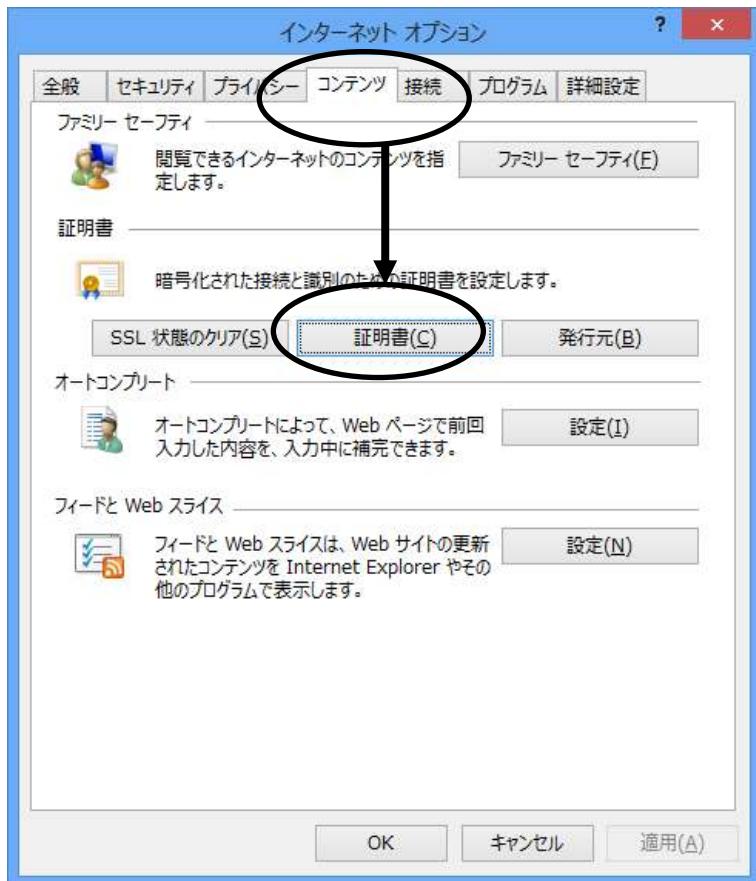
①Internet Explorer を起動します。

②メニューバーの【ツール】 - 【インターネットオプション】を開きます。

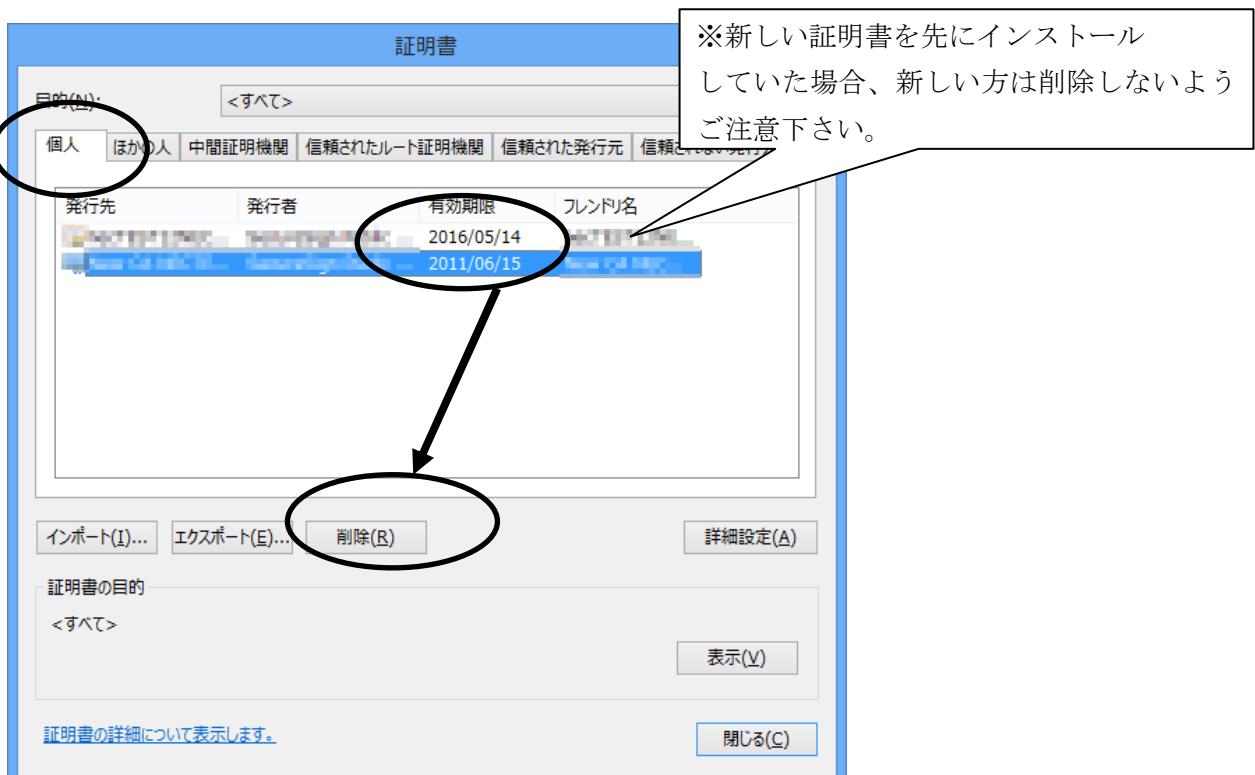
(【ツール】が表示されていない場合は、キーボードの Alt キーを押下すると表示されます)



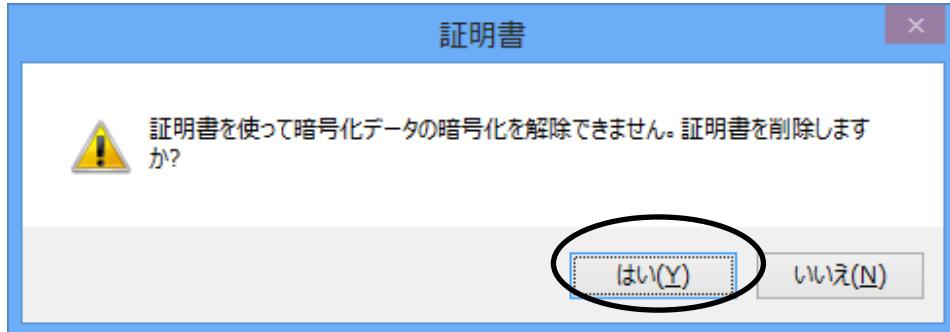
③ 「コンテンツ」タブ、「証明書」ボタンの順にクリックしてください。



④ 「個人」タブで easyHousing の古い証明書をクリックした後、
「削除」ボタンをクリックします。



⑤警告画面では、「はい」をクリックして削除します。



⑥証明書画面に戻った後、「閉じる」ボタンをクリックします。



⑦<インターネットオプション>画面に戻ったら、『OK』ボタンクリックで画面を閉じ、削除は終了です。

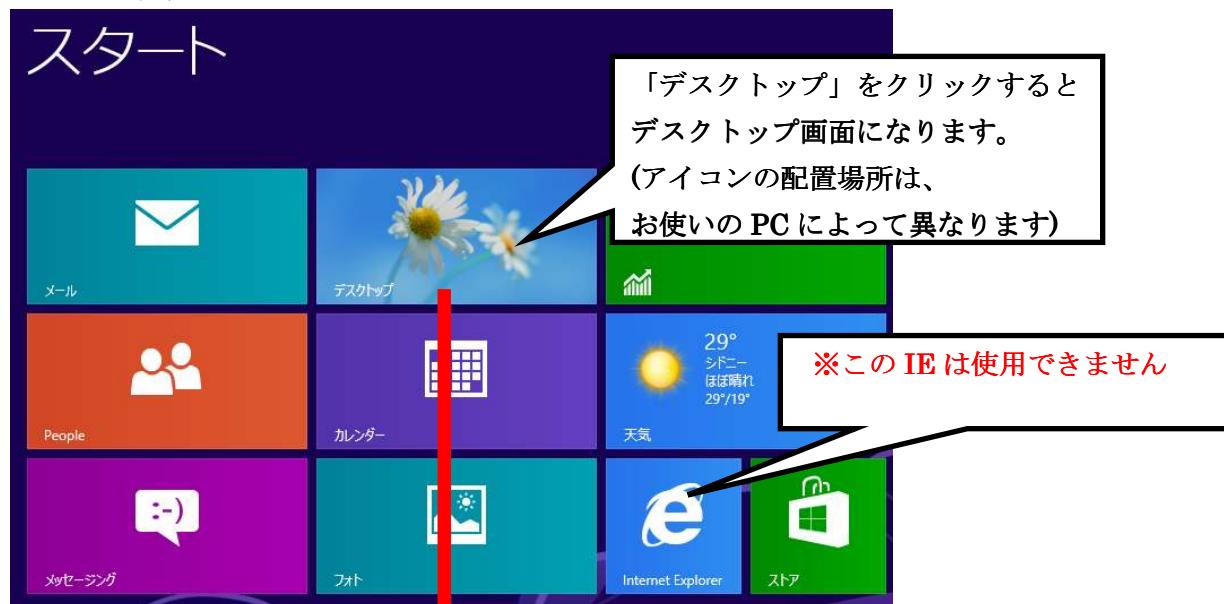
4 インターネットエクスプローラ

本サービスでは以下の設定を推奨しますが、セキュリティレベルの変更は、お客様のご判断のもとに自己責任で行ってください。

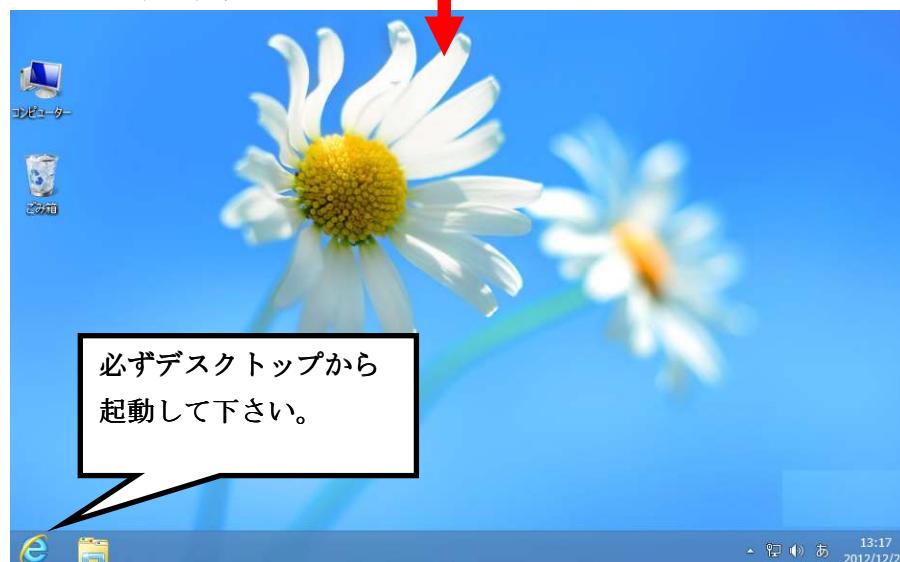
このマニュアルでは、Internet Explorer 10, Internet Explorer 11について説明しています。

※Internet Explorer はスタート画面ではなく、デスクトップ画面から起動してください。

スタート画面



デスクトップ画面



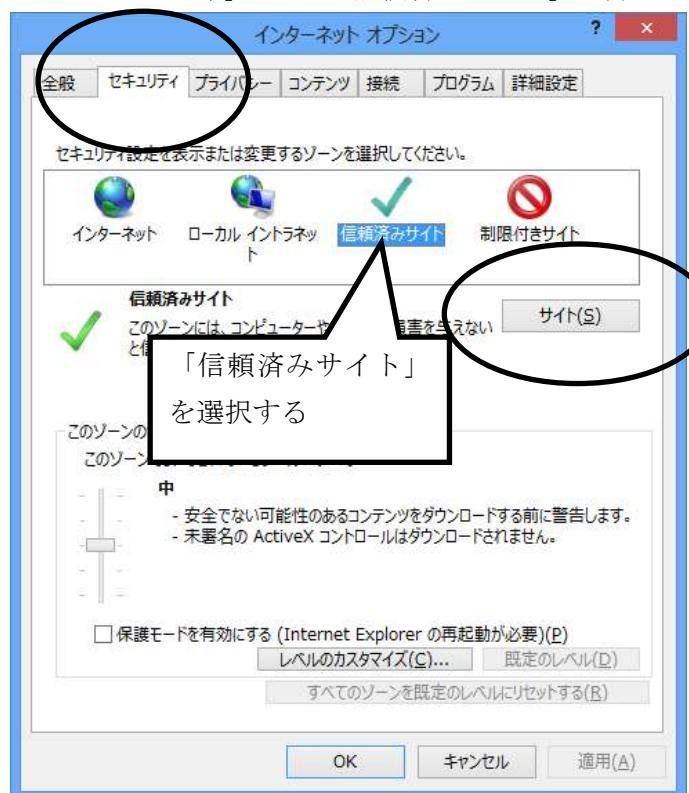
4.1 Internet Explorer の設定

- ①メニューバーの【ツール】 - 【インターネットオプション】を開きます。
 (【ツール】が表示されていない場合は、キーボードの Alt キーを押下すると表示されます)

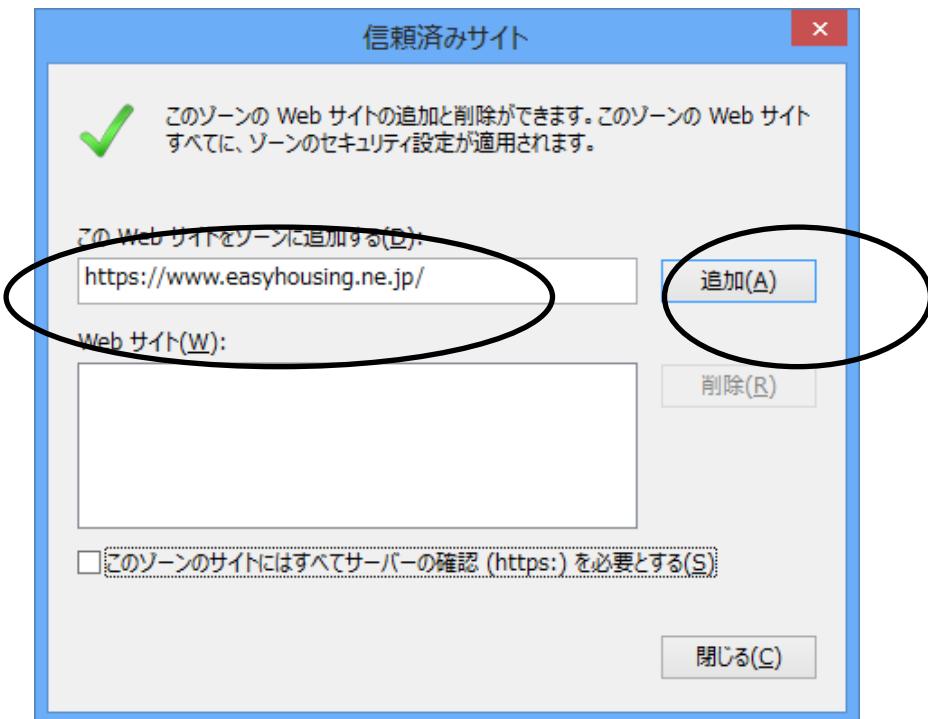


- ②信頼済みサイトの設定をします。

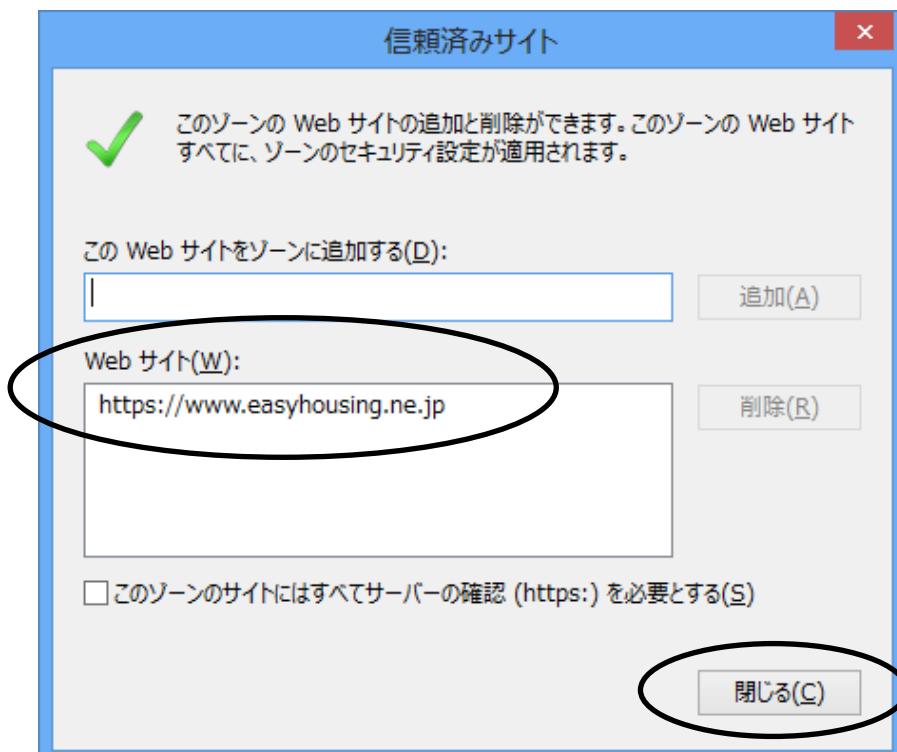
1. 「セキュリティ」タブ→「信頼済みサイト」の順に選択し、『サイト』ボタンをクリックして下さい。



2.信頼済みサイトの設定画面が表示されるので、「この Web サイトをゾーンに追加する」に「<https://www.easyhousing.ne.jp/>」と入力し、「追加」ボタンを押下してください。

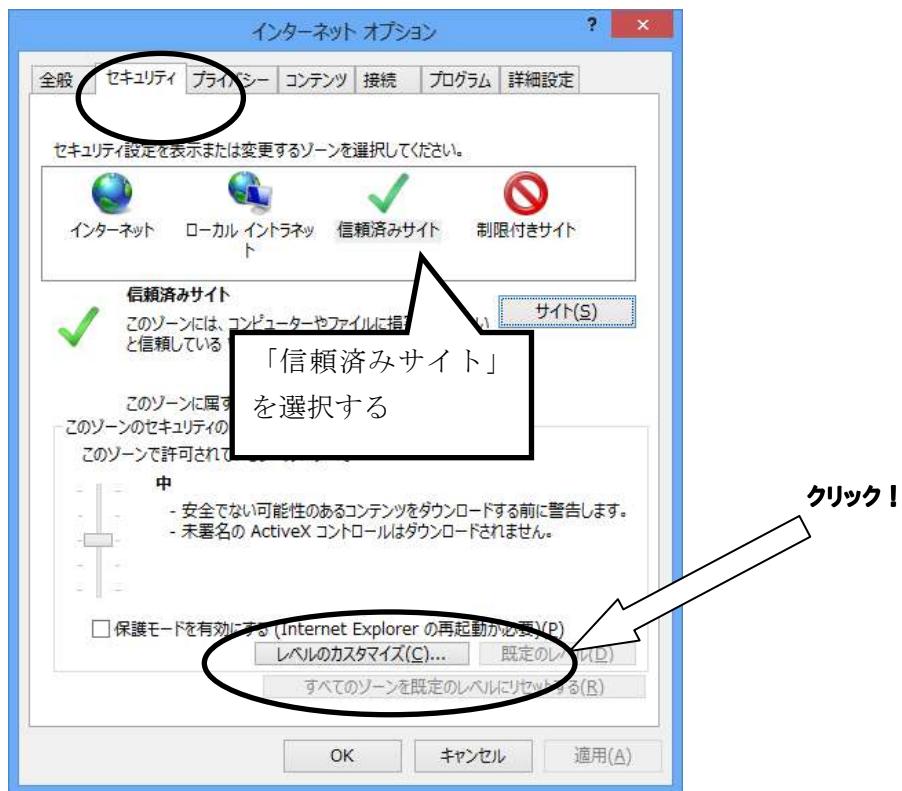


3.「Web サイト」に「<https://www.easyhousing.ne.jp>」が追加されたことを確認し、「閉じる」ボタンを押下してください



③＜インターネットオプション＞画面で、[セキュリティ] タブを選択します。

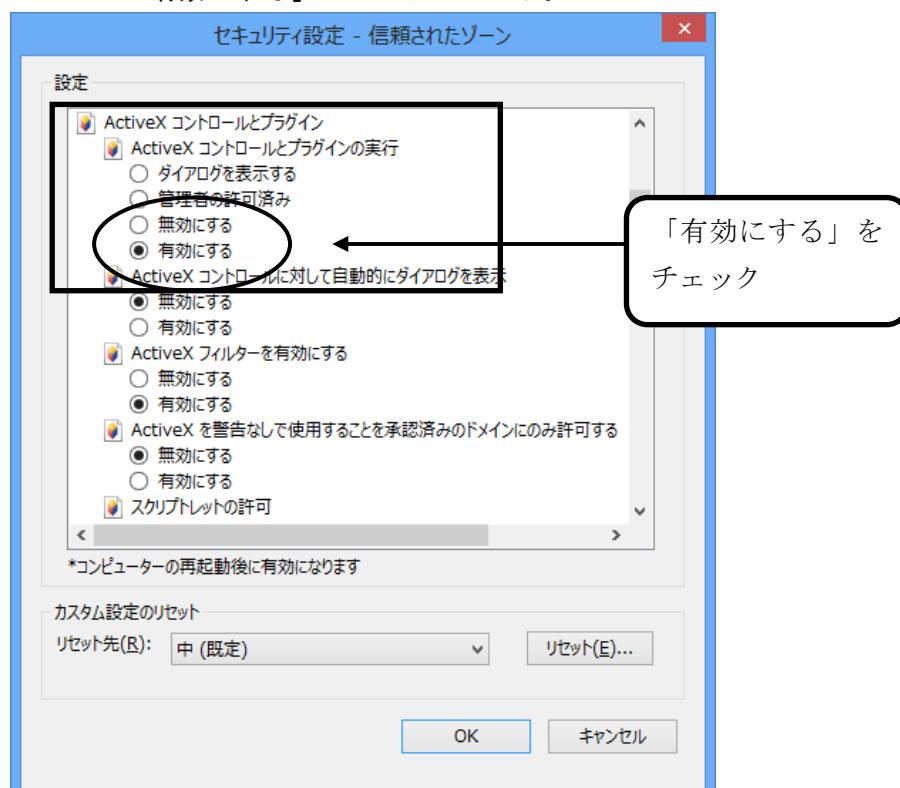
「信頼済みサイト」を選択し、『レベルのカスタマイズ』ボタンをクリックして下さい。



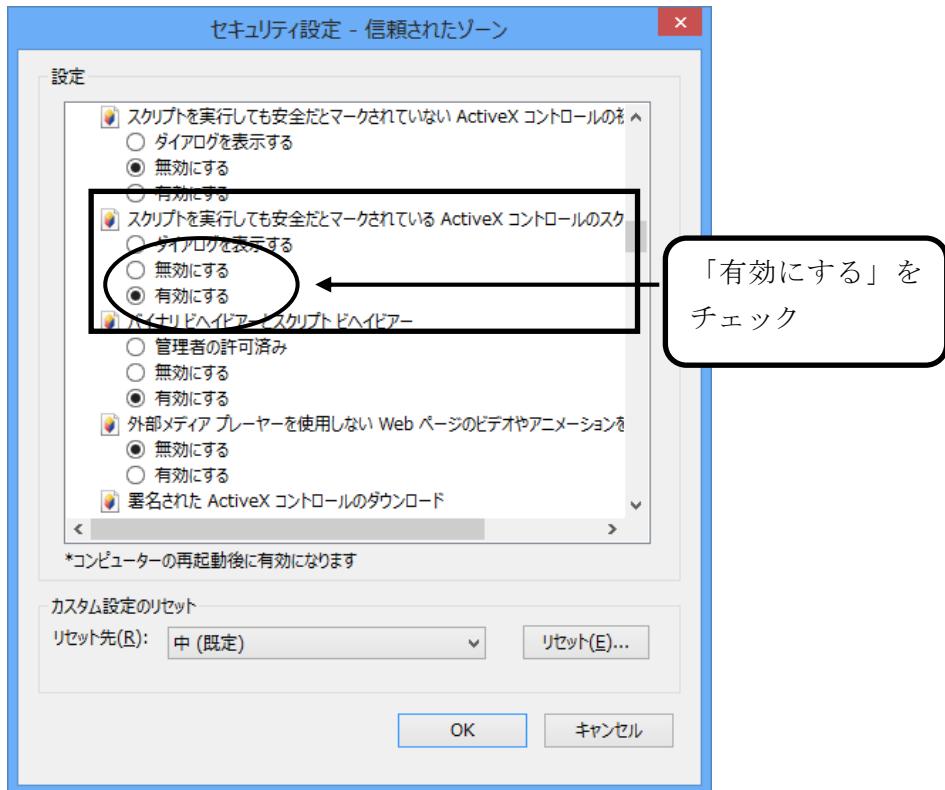
④＜セキュリティの設定＞画面が表示されます。

●ActiveX コントロールとプラグインの実行

→「有効にする」にチェックします。

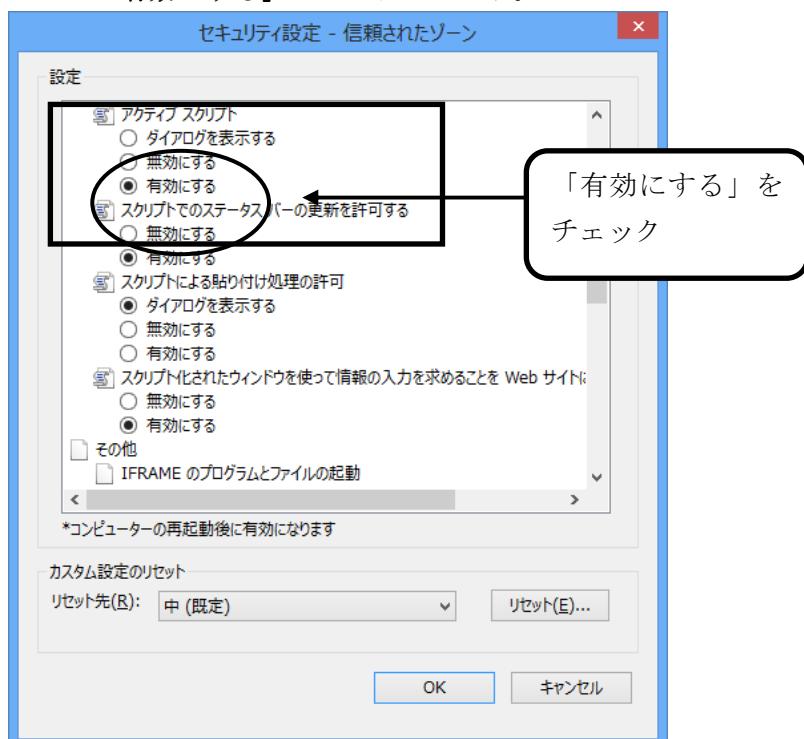


- スクリプトを実行しても安全だとマークされている ActiveX コントロールのスクリプトの実行
→「有効にする」にチェックします。



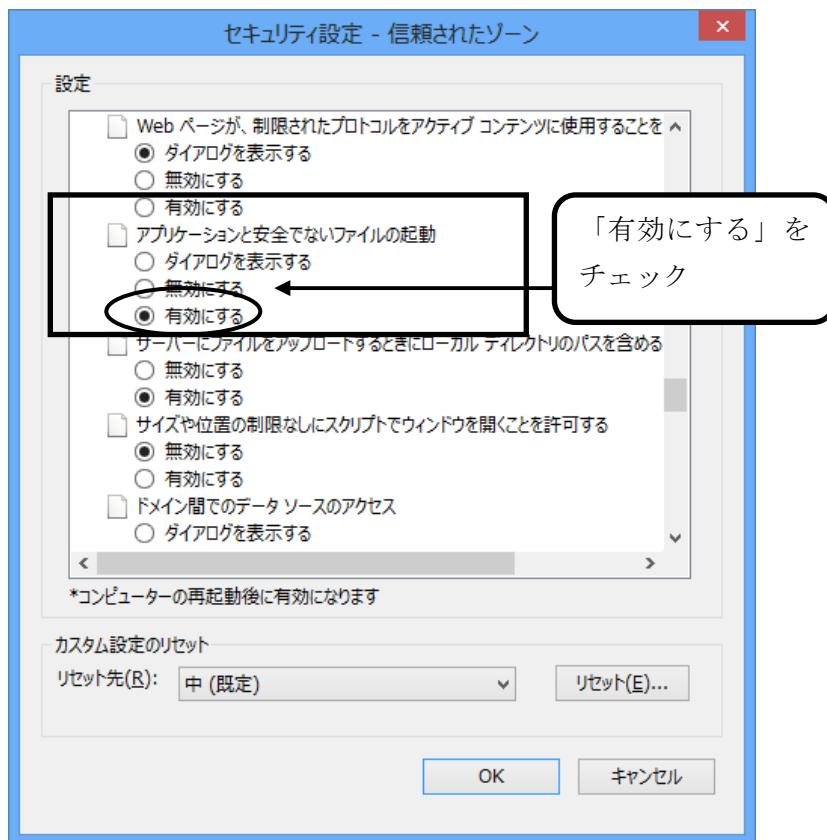
●アクティブスクリプト

→ 「有効にする」にチェックします。



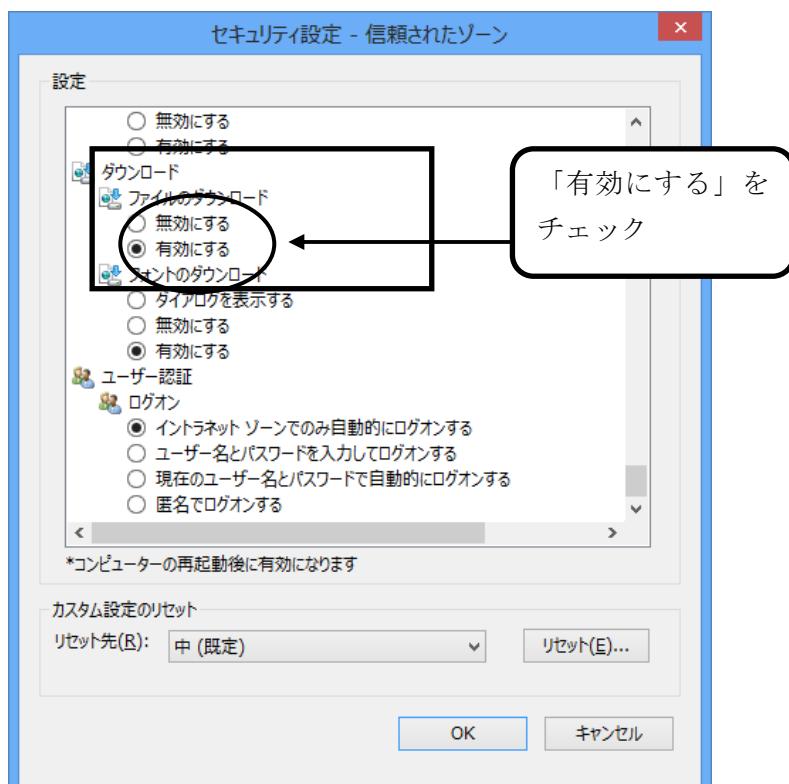
● アプリケーションと安全でないファイルの起動

→ 「有効にする」にチェックします。



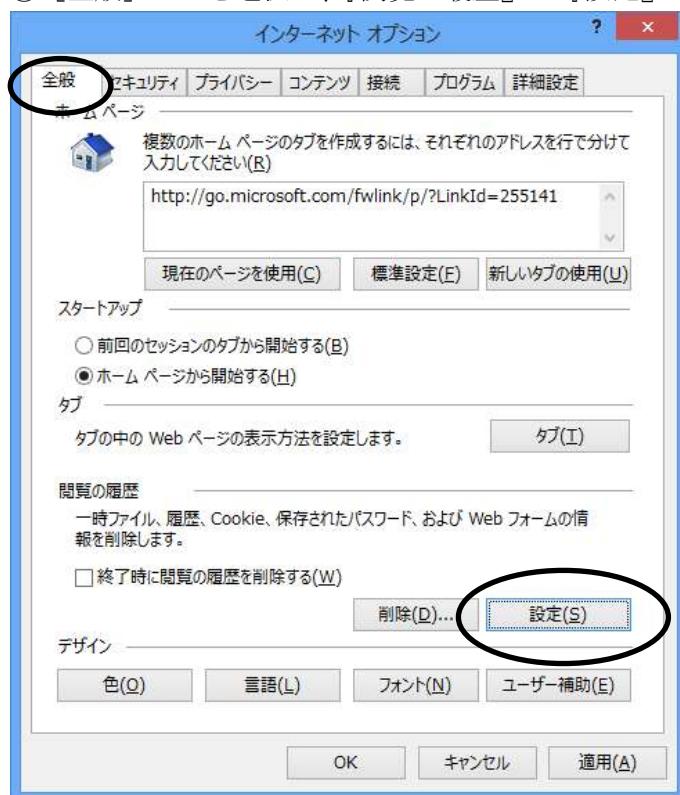
● ファイルのダウンロード

→ 「有効にする」にチェックします。



⑤『OK』ボタンをクリックし、『インターネットオプション』画面に戻ります。

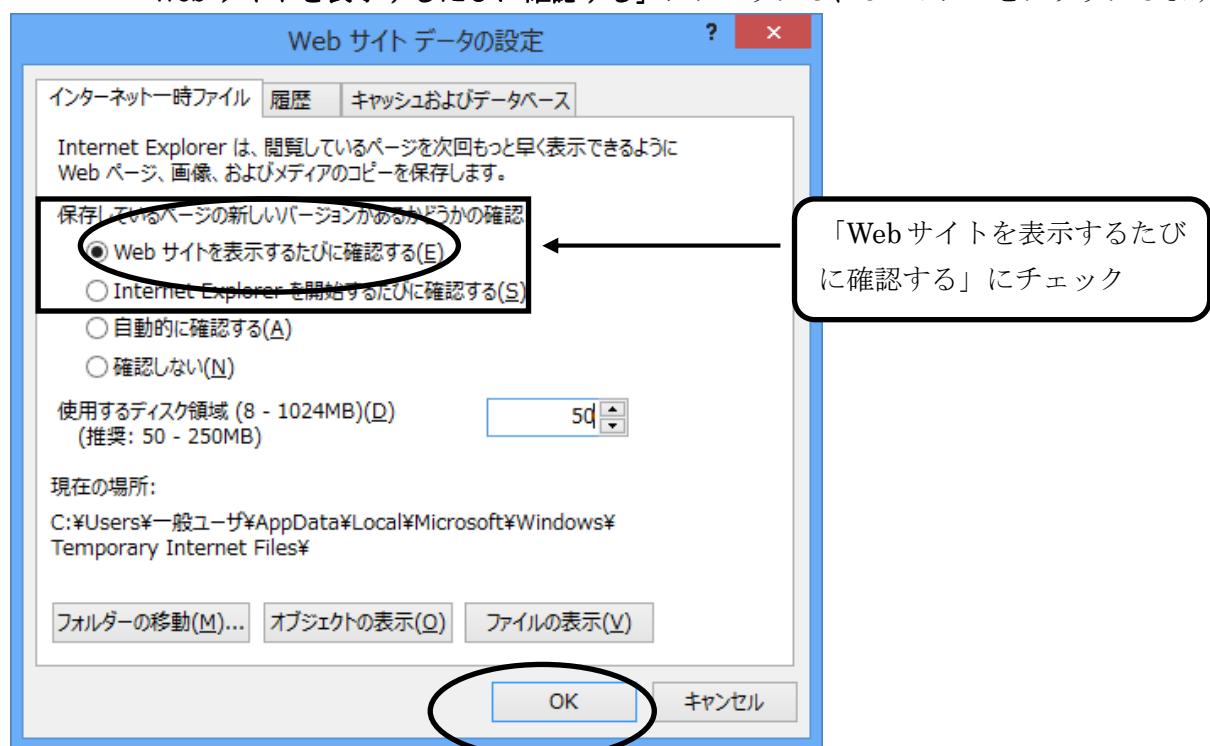
⑥【全般】タブを選択し、『閲覧の履歴』の『設定』ボタンをクリックしてください。



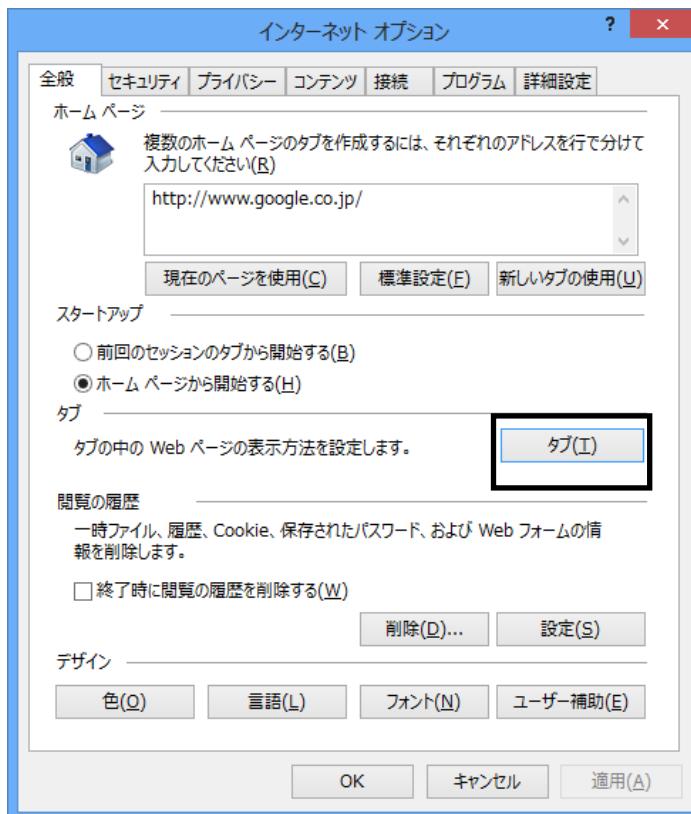
⑦「インターネット一時ファイルと履歴の設定」

●保存しているページの新しいバージョンがあるかどうかの確認

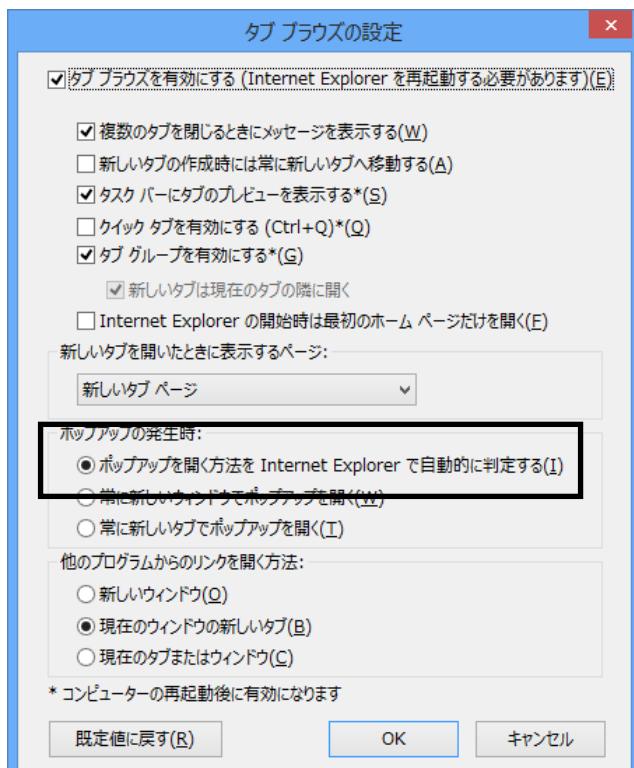
→「Web サイトを表示するたびに確認する」にチェックし、OK ボタンをクリックします。



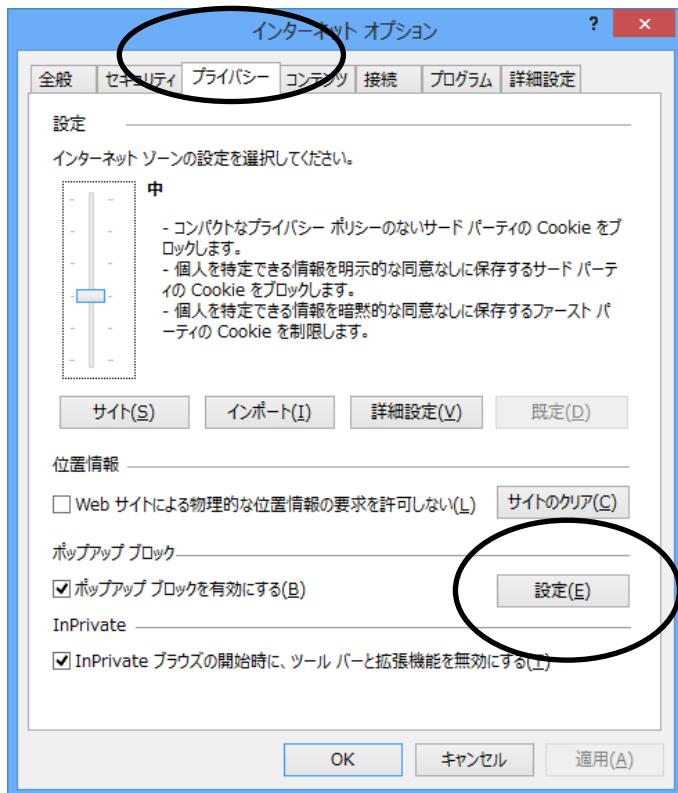
⑧ [全般] で、「タブ」ボタンをクリックします。



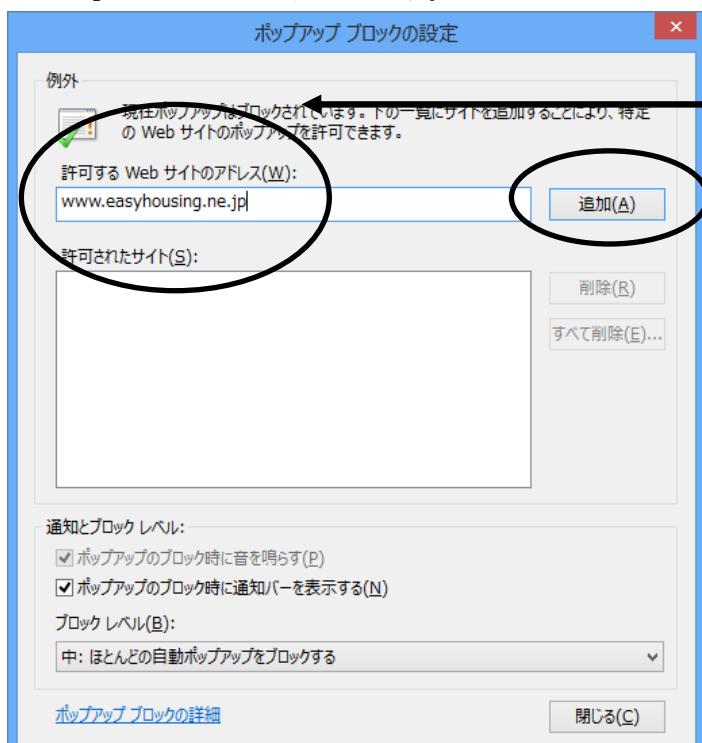
「ポップアップの発生時」で、「ポップアップを開く方法を Internet Explorer で自動的に判定する」に変更します。



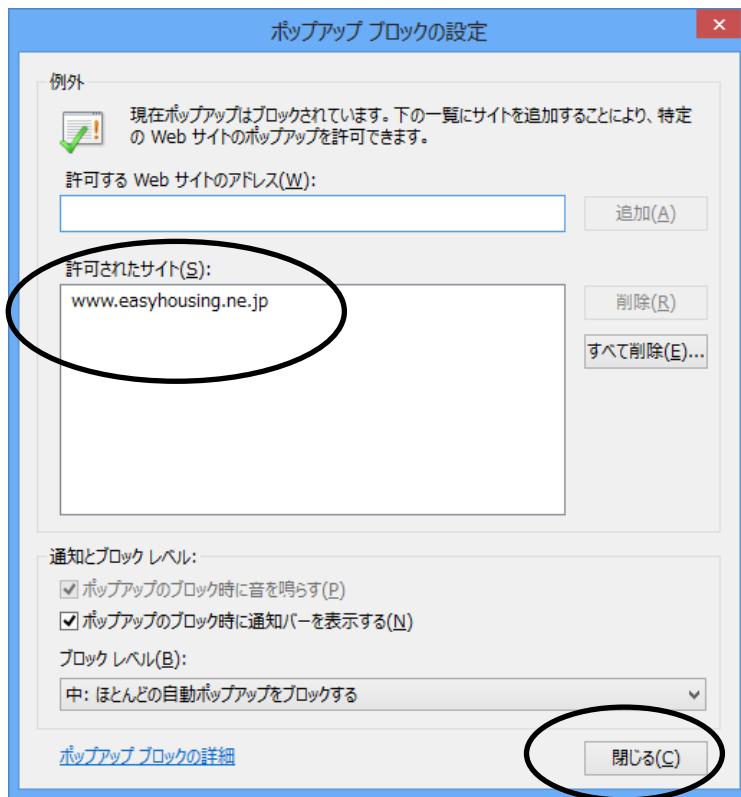
- ⑨ [プライバシー] タブを選択し、「ポップアッププロック」の「設定」ボタンをクリックしてください。



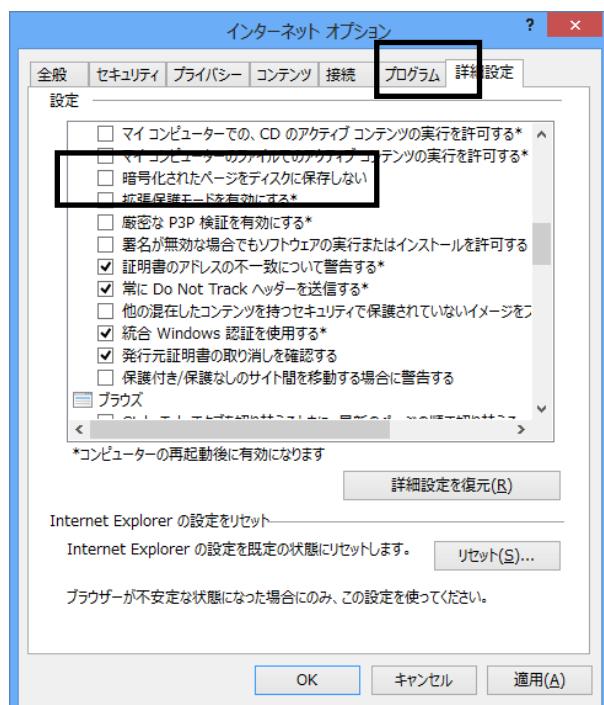
「許可する Web サイトのアドレス」に、「www.easyhousing.ne.jp」を入力し、「追加」ボタンをクリックします。



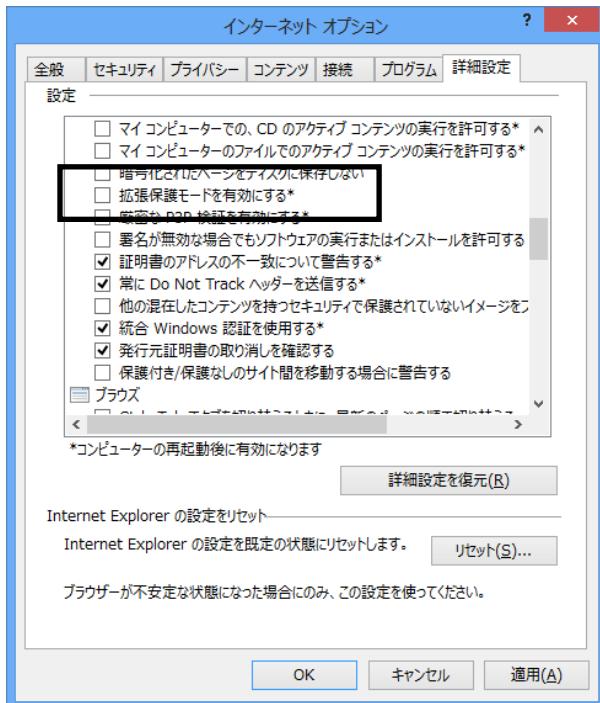
「許可されたサイト」に「www.easyhousing.ne.jp」が追加されたことを確認し、「閉じる」ボタンをクリックします。



- ⑩ インターネットオプションの「詳細設定」で、「暗号化されたページをディスクに保存しない」にチェックがあった場合はチェックを外します。

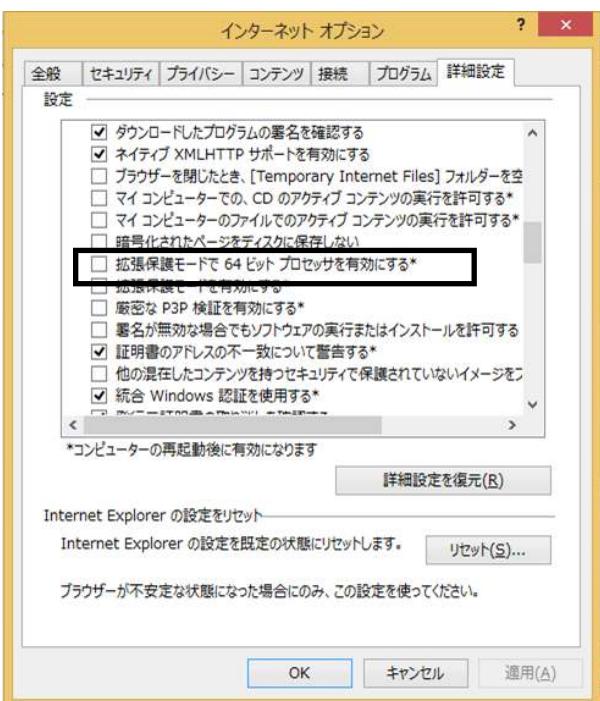


また、「拡張保護モードを有効にする」にチェックがあった場合は
そのチェックも外します。



Windows 8.1(64bit) Internet Explorer 11 のみ

「拡張保護モードで 64 ビット プロセッサを有効にする」にチェックがあった場合は
そのチェックも外します。



⑪ 『OK』ボタンクリックで画面を閉じ、設定は終了です。

5 必要ソフトウェアのセットアップ

インストール作業を開始する前に、インストール操作での留意点は以下の通りです。

- (1) すべてのアプリケーションを終了してください
- (2) インストール中に電源を切らないでください

本書の手順以外でインストールした場合、動作の保証はできません。

5.1 JRE のインストール

◆JRE のインストール手順を説明します。

このマニュアルでは、JRE1.7 の場合について説明致します。

※:サイトの更新等により、ダウンロード時のファイル名、バージョン等が
画像と異なる場合があります。

①JRE をダウンロードします。

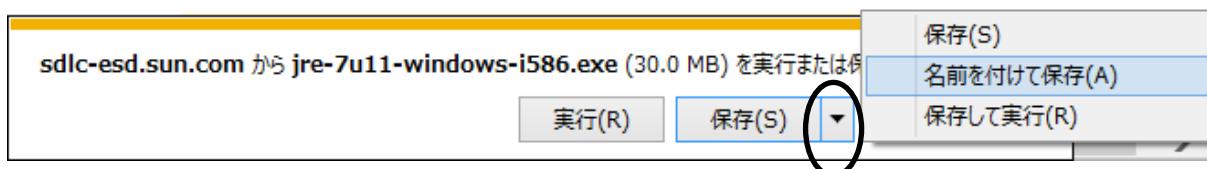
以下の URL にアクセスします。

http://java.com/ja/download/windows_offline.jsp

『同意して無料ダウンロードを開始』をクリックします。



「保存」の右の▼をクリックし、「名前をつけて保存」でデスクトップなど任意の場所に保存します。



※ダウンロードするファイルは、ダウンロードを行う時点での最新バージョンとなるため、
ファイル名が上記画像と異なる場合があります。

②インターネットエクスプローラなどすべてのアプリケーションを閉じます。
JRE のインストール手順は以下を参照してください。

★注意★

インターネットエクスプローラを起動したままインストールした場合、
再起動させるまで JAVA のインストールが有効になりません。

5.1.1 JRE1.7 のインストール手順

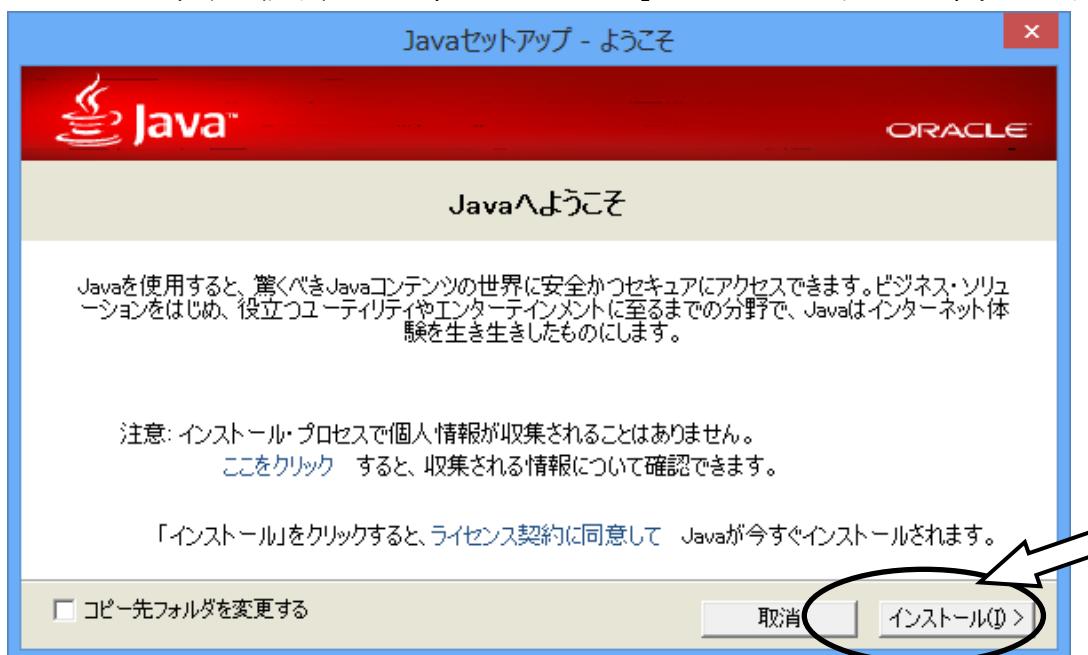
①保存したファイルのアイコンをダブルクリックします。

ユーザー アカウント制御の画面が表示された場合は、「はい」をクリックします。



②<Java のセットアップ>画面が表示されます。

ライセンス契約を読み終えたら、「インストール」ボタンをクリックして、次に進みます。



③＜セットアップ - 進行中＞画面が表示されます。



※＜セキュリティ・プロンプトの復元＞画面が表示された場合、
チェックを外して『次へ >』ボタンをクリックしてください。



④<セットアップ - 完了>画面が表示されます。

『閉じる』ボタンをクリックします。



5.2 easyHousing 電子署名ライブラリ

5.2.1 電子署名ライブラリのダウンロード

ダウンロード手順

◆easyHousing 電子署名ライブラリのダウンロード手順を説明します。

- ① インターネットエクスプローラを立ち上げアドレスバーに easyHousing のURLを入力します。

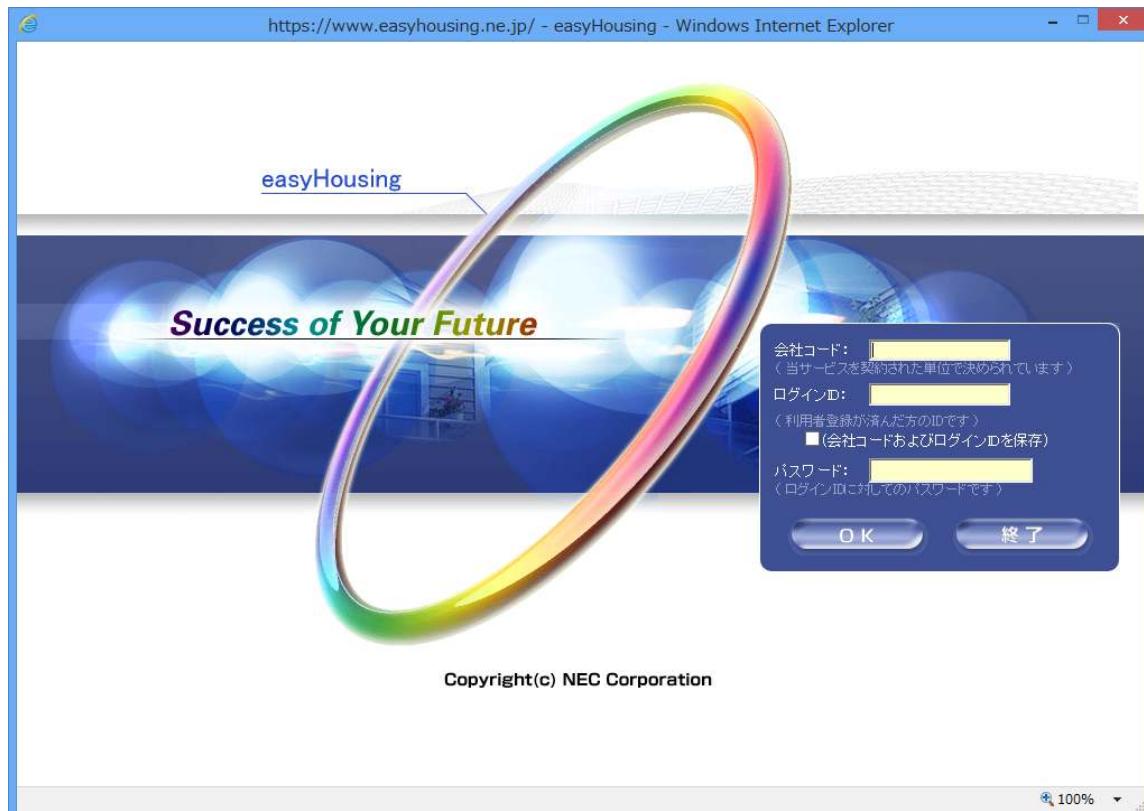


②Enterキーを押下するとお知らせ画面が表示され、15秒経過すると
ログイン画面が表示されます。

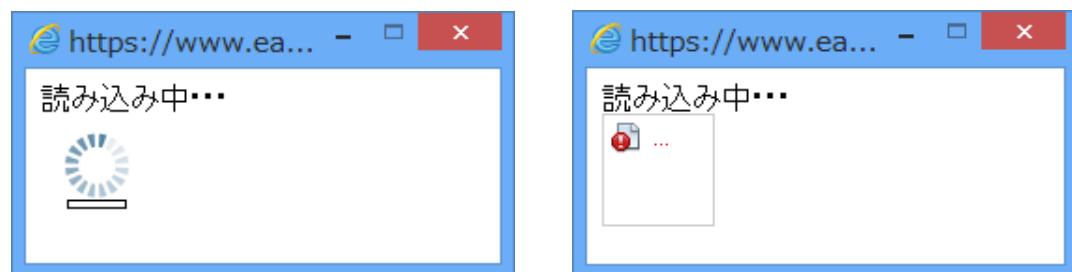
※お知らせ画面は閉じないで下さい

ログイン画面では「企業管理コード（12桁）」と「ユーザーID」「パスワード」を入力すること
により認証を行います。

企業コード、ログインID、パスワードを入力し、ログインします。



ログインと同時に以下のような画面が開きますが、初期設定時(電子証明書ライブラリを
まだインストールしていない場合)は、無視して先へ進んで下さい。
(×ボタンで閉じても問題ありません)



※電子証明書ライブラリがインストール済みの場合(アップグレードなど)

以下のような画面が表示された場合は、次の手順を実行して下さい。

- ①『この発行者および前述の場所からのアプリケーションでは、次回から表示しない』をチェックします。
- ②『実行』ボタンをクリックします。

※環境によって、画面や文章が一部異なる場合があります。

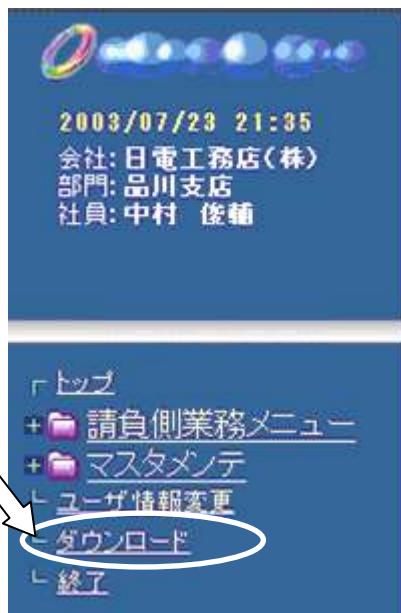


※Java がインストールされていない場合

以下のようなメッセージが表示された場合は、×ボタンで画面を閉じ
Java をインストールして下さい。 (24 ページ 『5.1 JRE のインストール』を参照して下さい)



③メニューから【ダウンロード】を選んでください。



クリック！

④<ダウンロード>画面が表示されます。

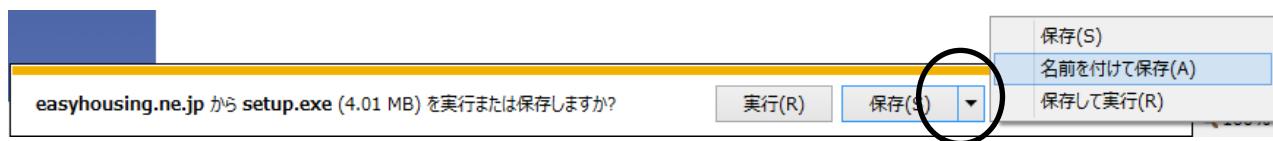
「電子署名ライブラリセットアップファイル」右の「download」という文字をクリックします。



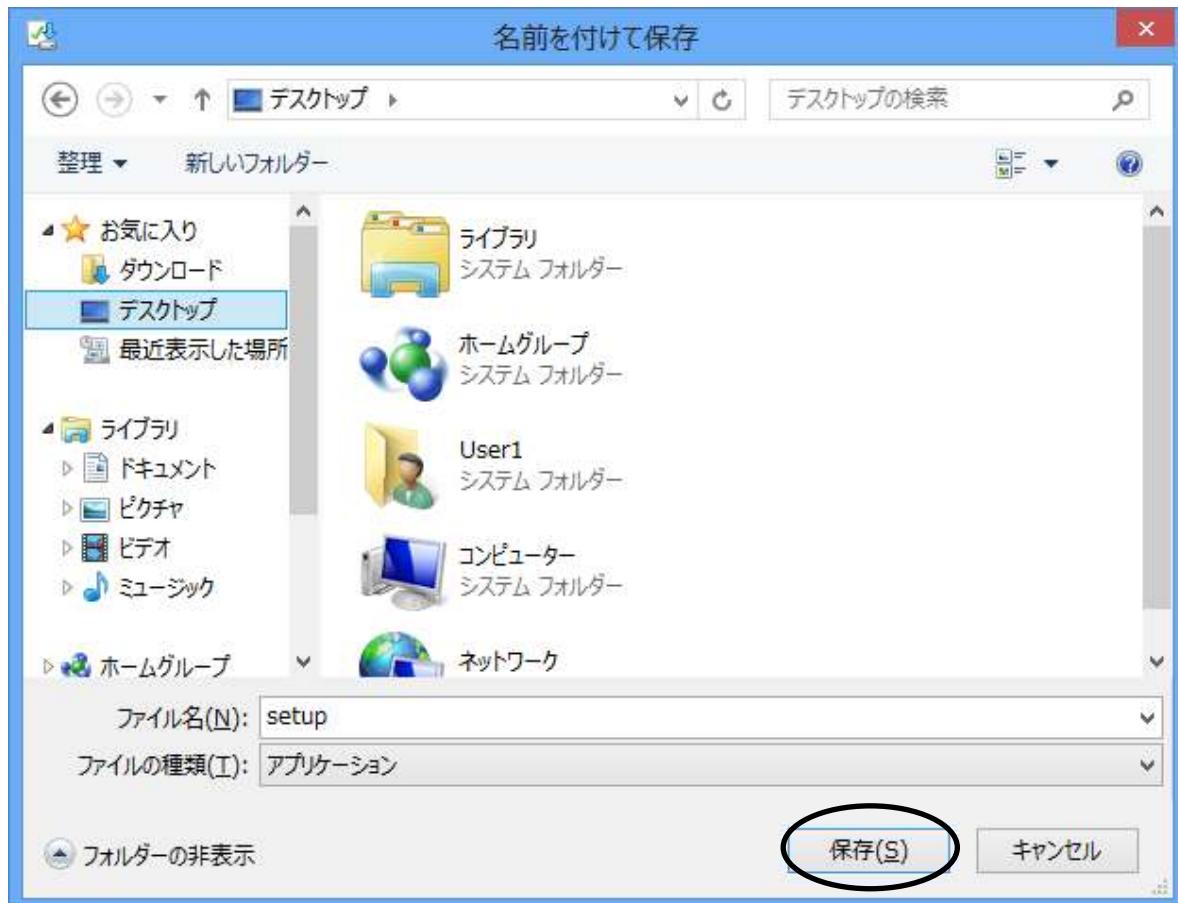
※WindowsXP、Vista、7、8対応

⑤<ファイルのダウンロード>画面が表示されます。

「保存」の右の▼をクリックし、「名前をつけて保存」をクリックしてください。



⑥<名前を付けて保存>画面が表示されます。デスクトップなど任意の場所へ保存してください。



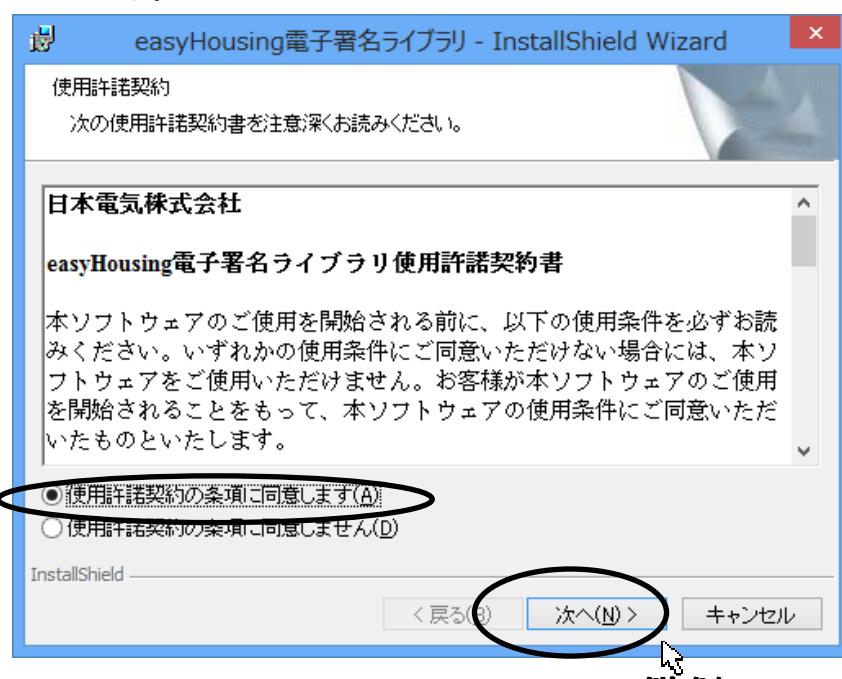
5.2.2 電子署名ライブラリのインストール

- ① 「5.2.1 電子署名ライブラリのダウンロード」でダウンロードしたファイル「setup.exe」をダブルクリックし、セットアップを開始します。

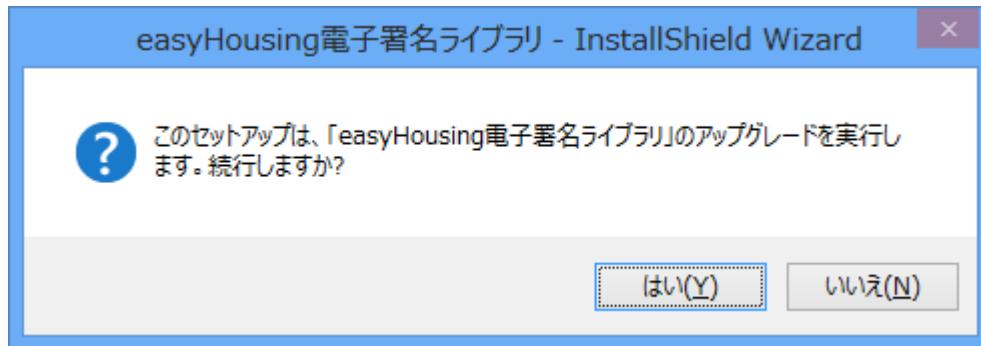


- ② InstallShield Wizard が起動します。

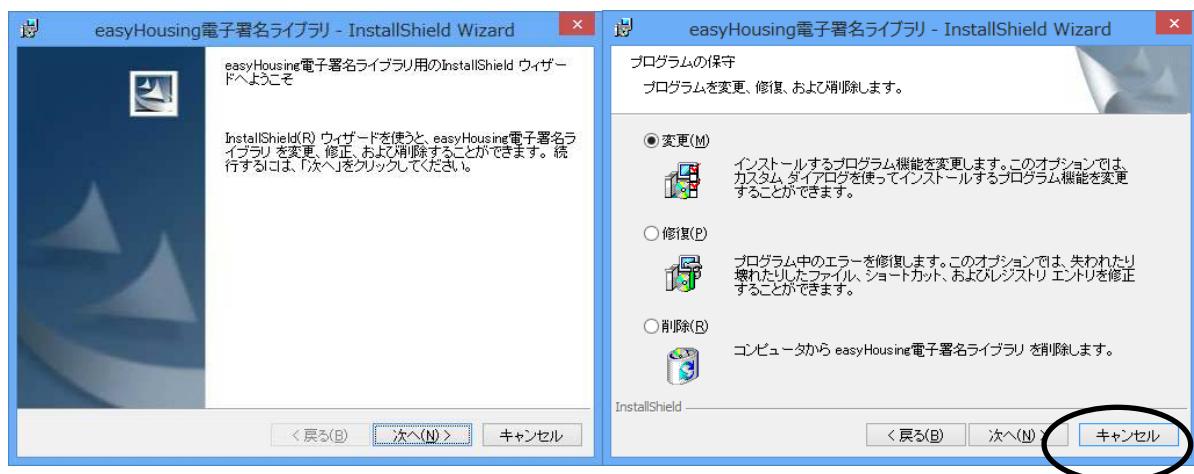
- 初めて電子署名ライブラリをインストールする場合、<使用許諾契約>の画面が表示されます。内容をご確認のうえ、「**使用許諾契約の条項に同意します**」を選択し、『次へ』ボタンをクリックします。



※アップグレードの確認画面が表示された場合は、「5.2.3 電子署名ライブラリのアップデート」の手順を参照して下さい。



※変更、修正(修復)、および削除の画面が表示された場合、電子署名ライブラリはインストール済ですので『キャンセル』ボタンをクリックして下さい。(電子署名ライブラリを再インストールする場合は、アンインストール後手順①からインストールをやり直してください)



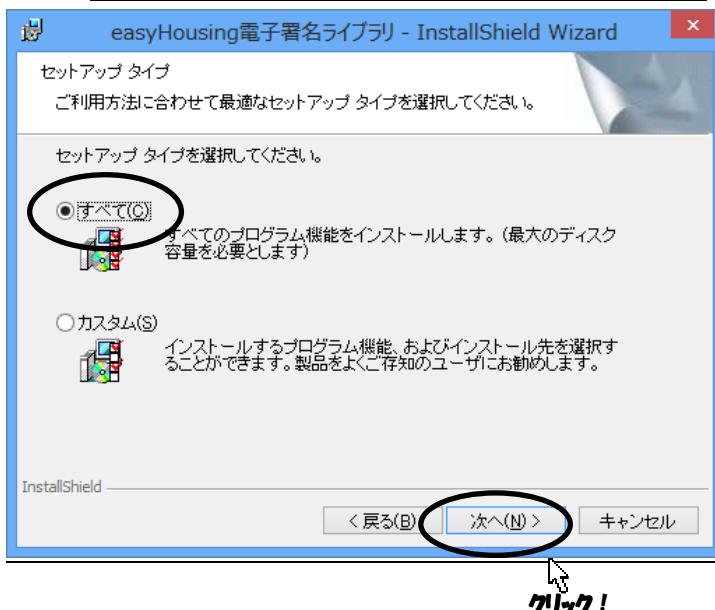
③<セットアップタイプ>の画面が表示されます。

セットアップタイプ「すべて」(通常)か、「カスタム」を選択したら『次へ』ボタンをクリックします。

- 通常は「すべて」を選択します。その場合インストール先はデフォルトで

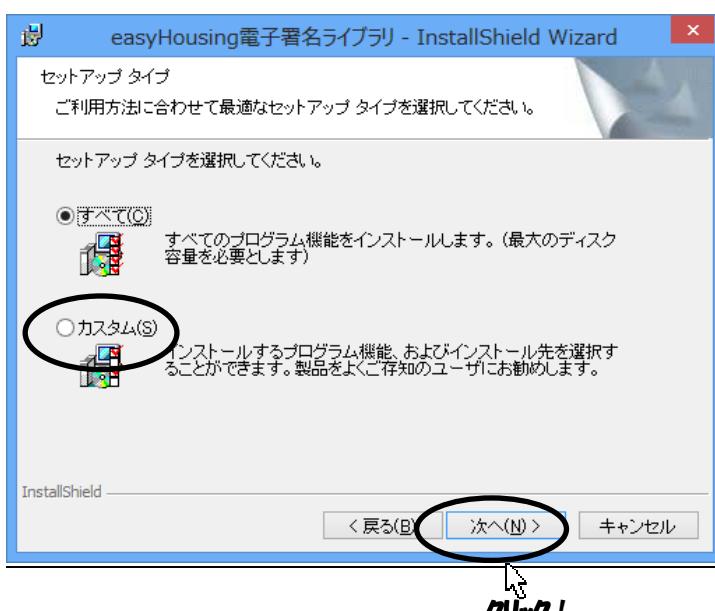
“C:\Program Files\NEC\jasp”となります。

⇒「すべて」を選択した場合、手順⑦へ進みます。



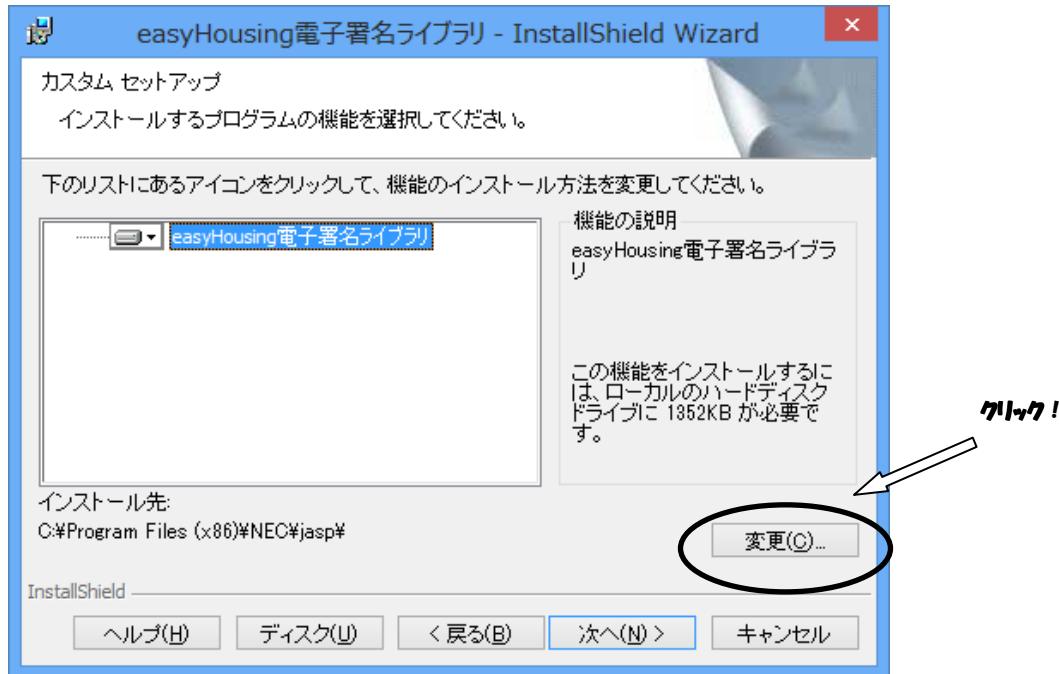
手順⑦へ進んでください。

- 「カスタム」を選択した場合、インストール先のフォルダをデフォルト以外に指定することができます。

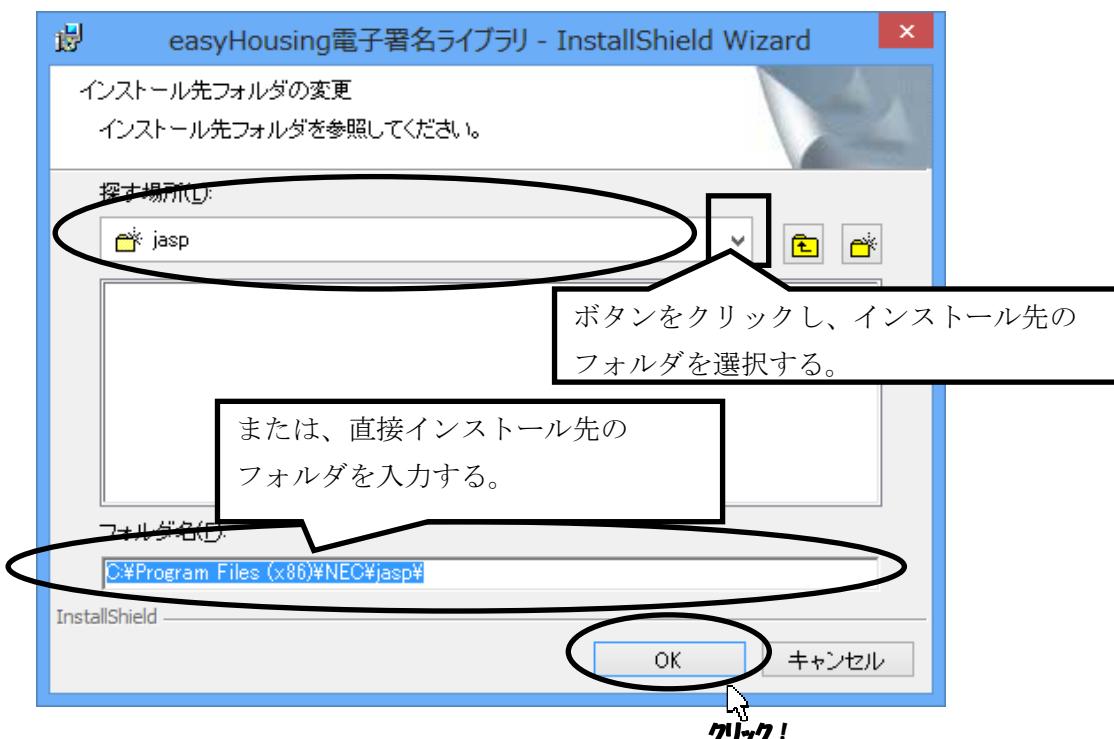


手順④へ進んでください。

- ④<カスタムセットアップ>画面が表示されます。（手順③で「カスタム」を選択した場合）
『変更』ボタンをクリックします。



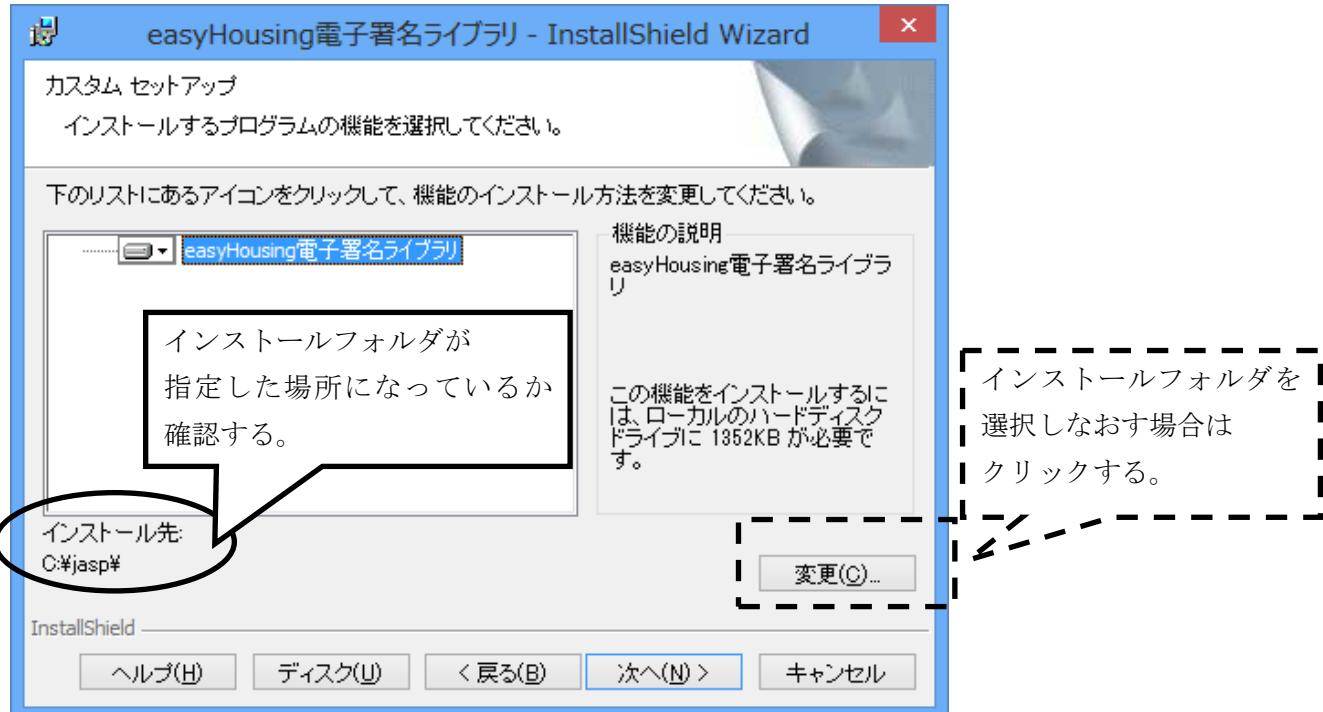
- ⑤<インストール先フォルダの変更>画面が表示されます。
「探す場所」プルダウンメニューからインストールフォルダを指定するか、または
「フォルダ名」の枠内に直接インストールフォルダの場所を入力し『OK』ボタンを
クリックします。



⑥<カスタムセットアップ>画面が表示されます。

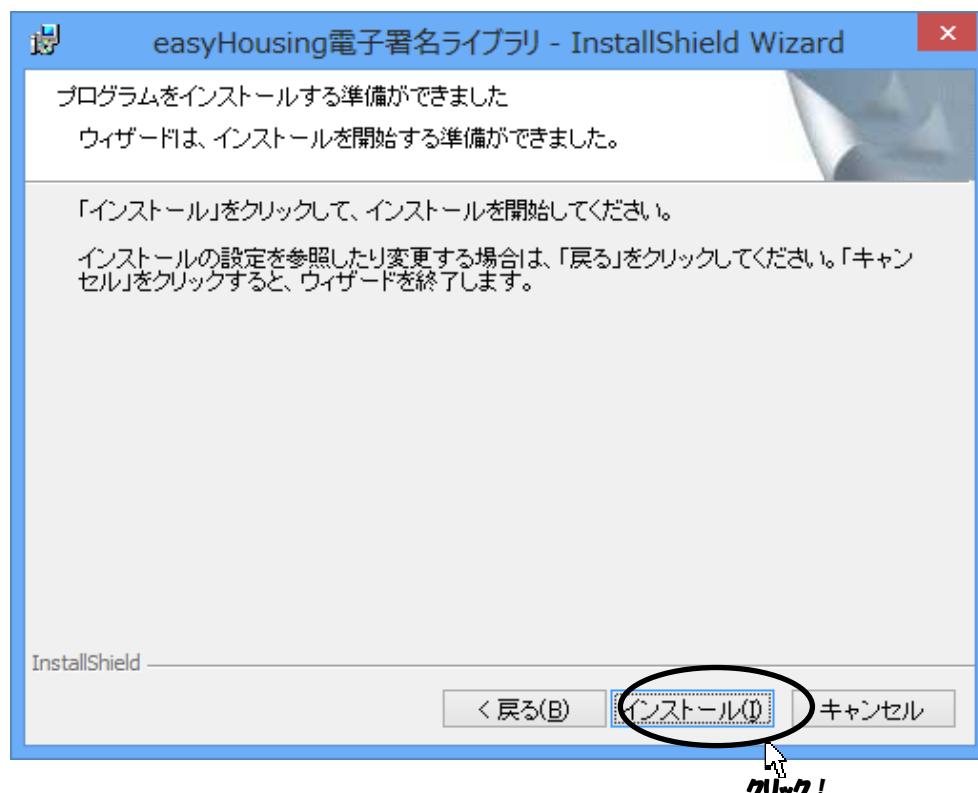
「インストール先」が変更されていることを確認し、『次へ』ボタンをクリックします。

再度、インストール先を変更する場合は『変更』ボタンをクリックし、手順⑤へ戻ります。

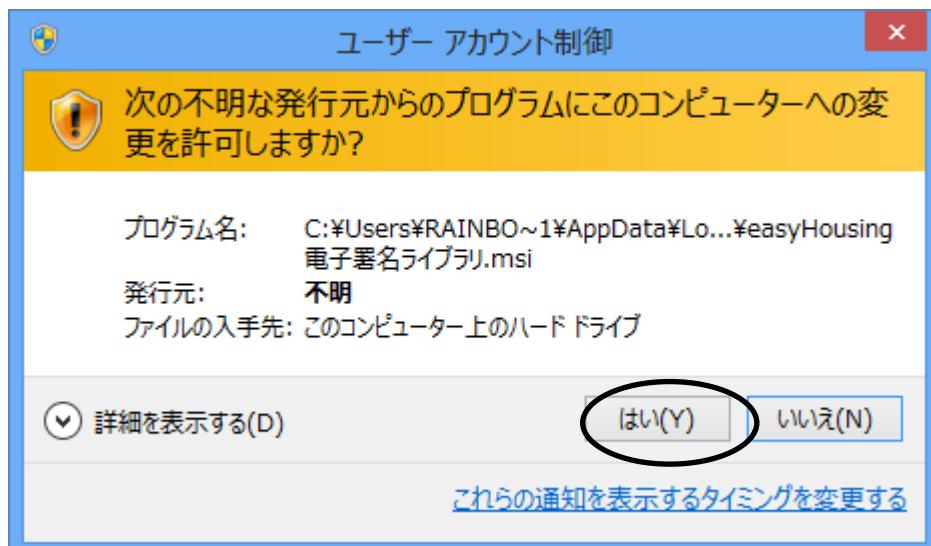


⑦<プログラムをインストールする準備ができました>画面が表示されます。

『インストール』ボタンをクリックし、インストールを開始します。

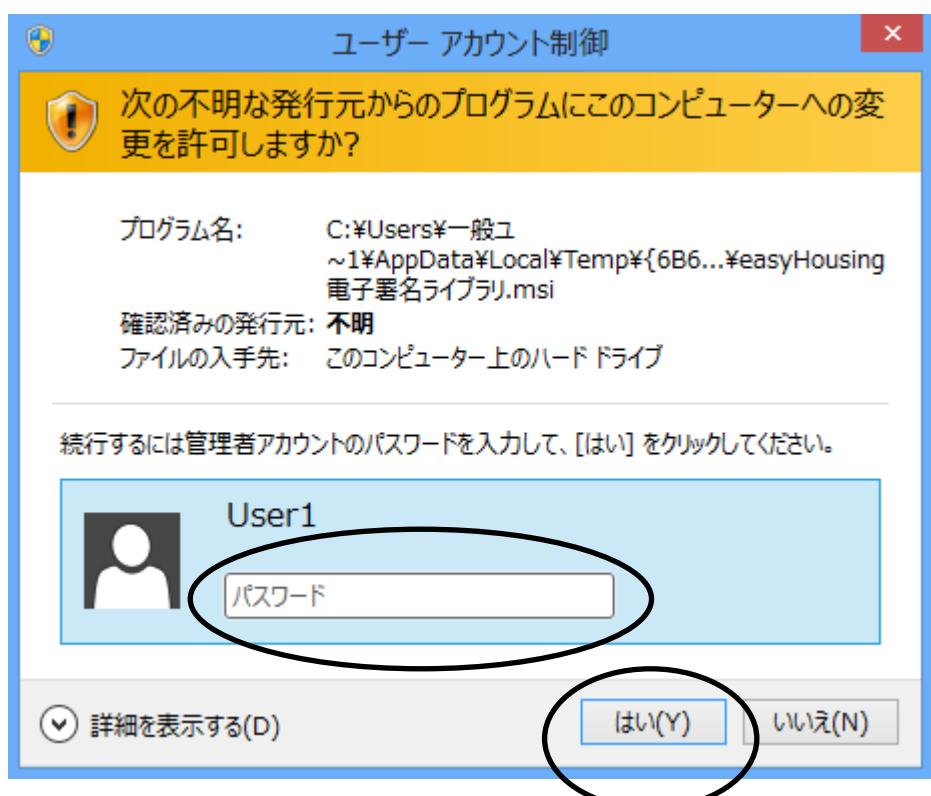


以下の画面が表示された場合は、「はい」をクリックします。



(パスワードの入力欄が表示された場合)

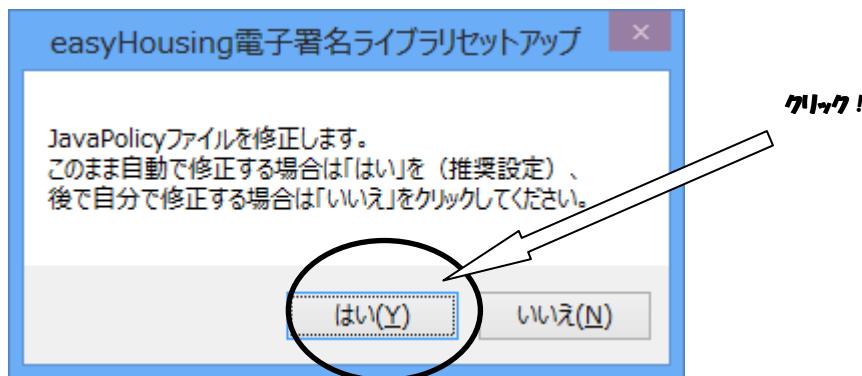
Administrator のパスワードを入力し、「はい」をクリックします。



⑧インストール中に「JavaPolicy ファイルの修正確認」ダイアログが表示されます。

通常は『はい』ボタンをクリックし、修正を行います。

『いいえ』を選択した場合は、インストール後自分で修正します。



- 「JavaPolicy ファイルの修正確認」ダイアログで『いいえ』を選択しインストール後に「Javapolicy ファイル」を修正する場合は、以下の記述を追加します。

*JavaPolicy ファイルはユーザのフォルダにあります。 (C:\Users\ユーザ名)

>記述内容<

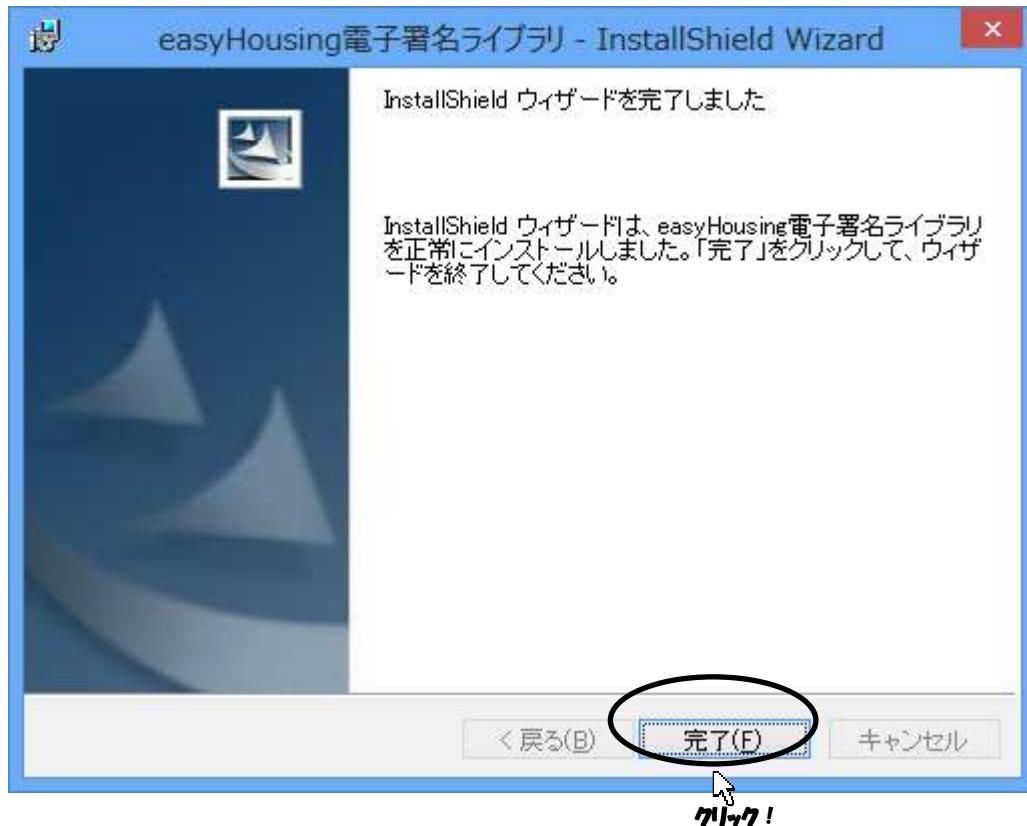
```
grant codeBase "http://www.easyhousing.ne.jp/rbowSignApplet.jar"
{
    permission java.lang.RuntimePermission "loadLibrary.XSigner";
};

grant codeBase "http://www.easyhousing.ne.jp/xsigner.jar" {
    permission java.lang.RuntimePermission "loadLibrary.XSigner";
};

grant codeBase "https://www.easyhousing.ne.jp/rbowSignApplet.jar"
{
    permission java.lang.RuntimePermission "loadLibrary.XSigner";
};

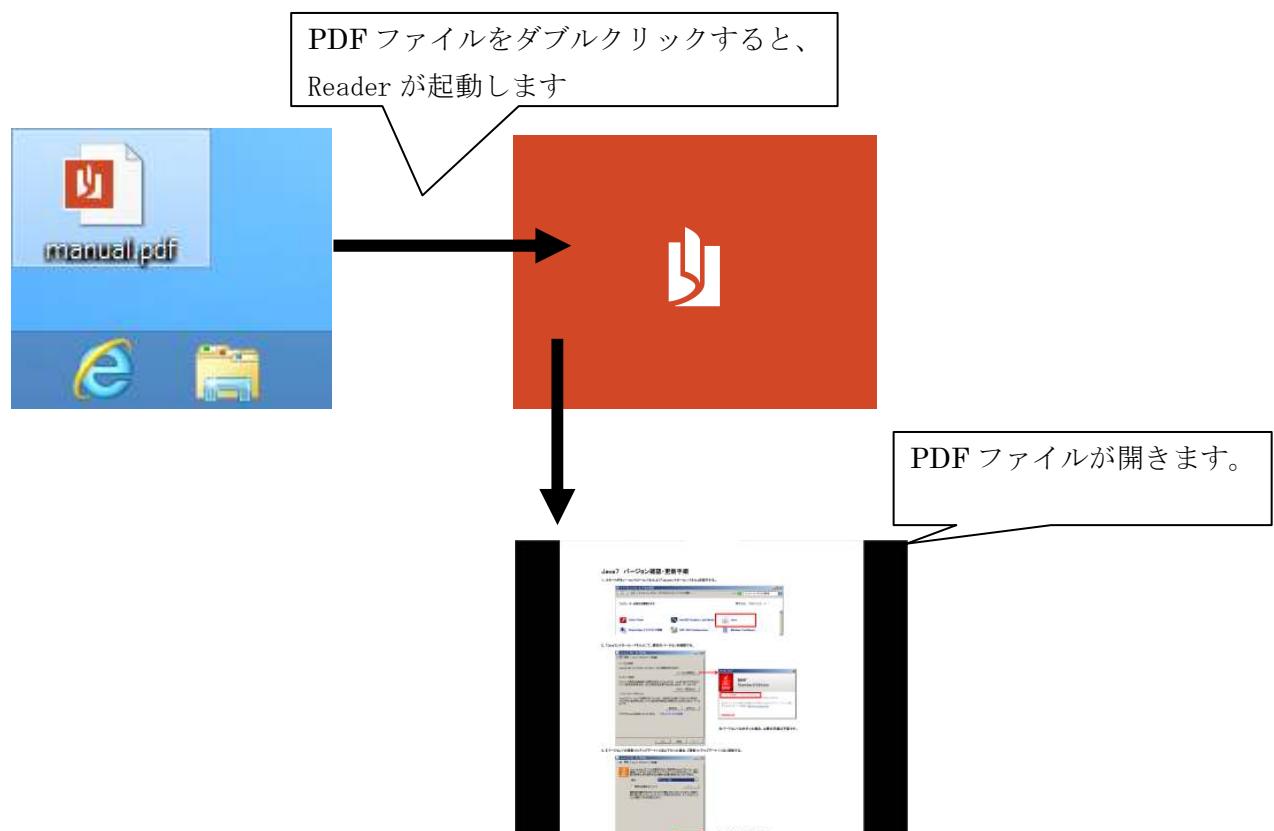
grant codeBase "https://www.easyhousing.ne.jp/xsigner.jar" {
    permission java.lang.RuntimePermission "loadLibrary.XSigner";
};
```

- ⑨<InstallShield ウィザードを完了しました>画面が表示されたら、『完了』ボタンをクリックし、インストール作業は終了です。



5.3 Readerについて

Windows8は、Windows7までと異なり「Adobe Reader」をインストールしなくても「Reader」でPDFファイルを開くことができます。



※Adobe Readerをインストールして使用する事もできますが、Windows8に対応しているのはAdobe Reader XI(11)以降になります。

以上で、本サービス利用にあたっての環境設定はすべて終了となります。

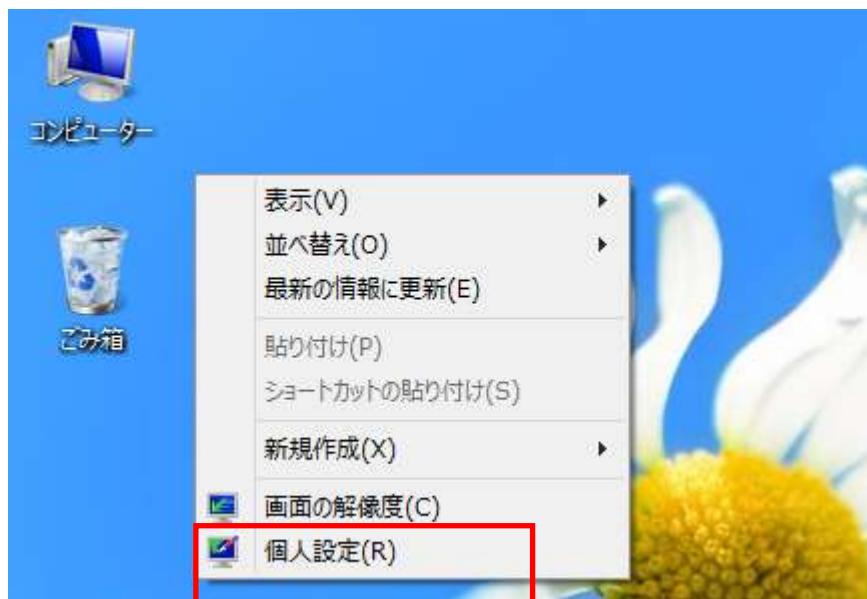
補足1 必要ソフトウェアのアンインストール手順

この章では、各ソフトウェアのアンインストール手順を説明します。

インストールが正常に行われず、再インストールが必要になった場合などに参照して下さい。

補足1.1 Java アンインストール手順

- ①デスクトップ上の何もない場所で右クリック→「個人設定」→「コントロール パネルホーム」をクリックし、表示方法を「カテゴリ」にします。

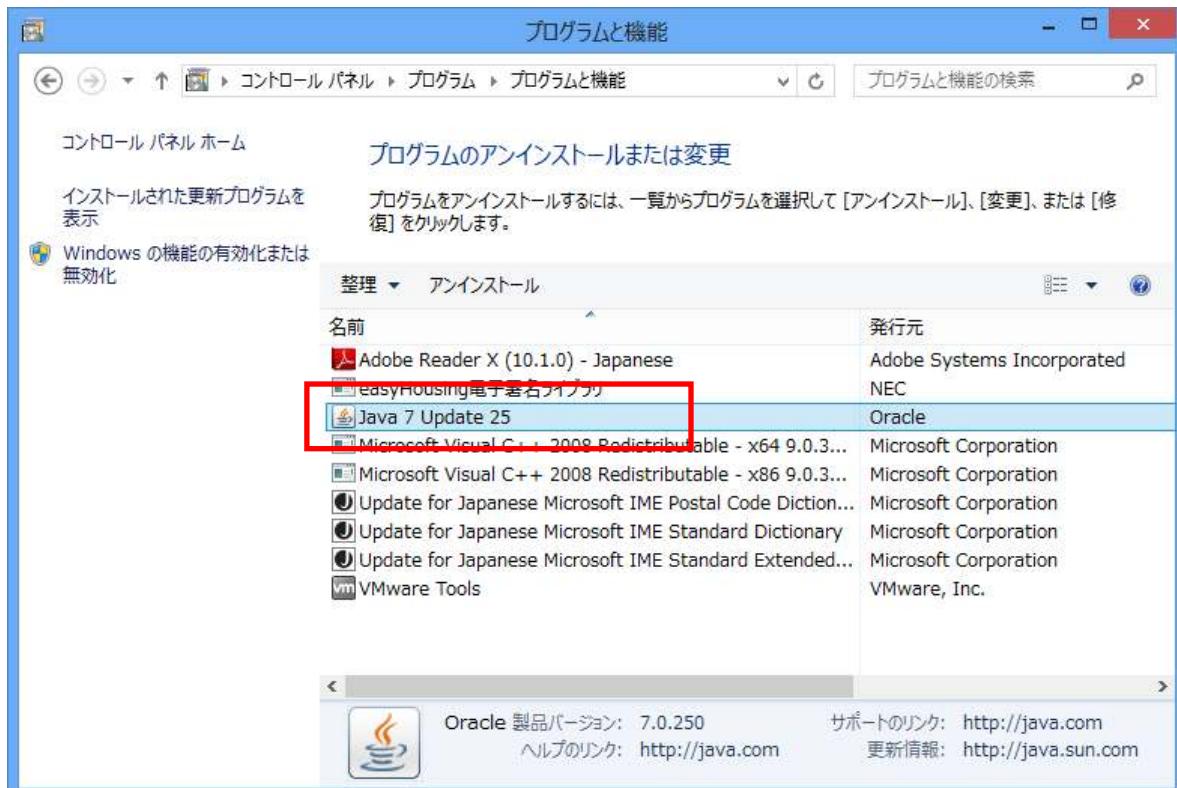




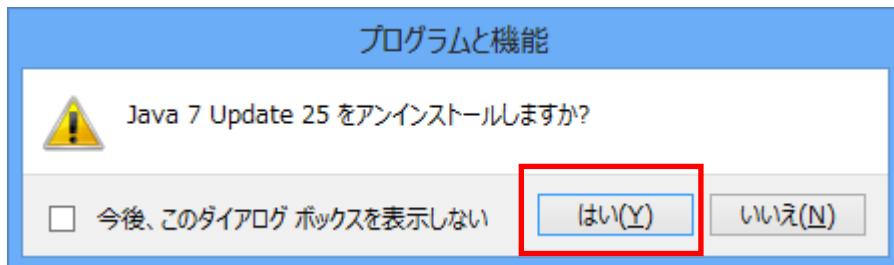
② 「プログラムのアンインストール」をクリックします。



③ Java (複数表示されていた場合は、バージョンの古いものをダブルクリックします。



④ 「プログラムと機能」画面が表示された場合は、「はい」をクリックします。



以下の画面が表示された場合は、「はい」をクリックします。



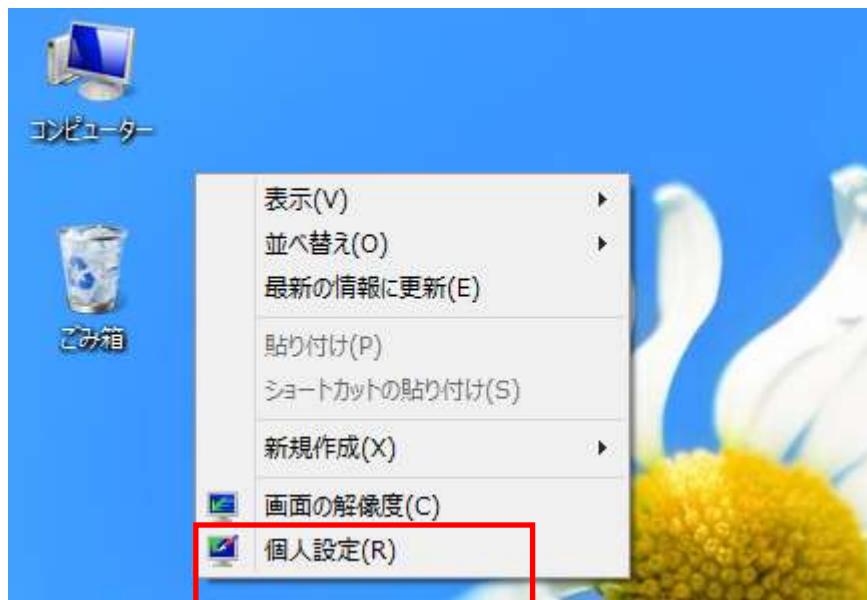
(パスワードの入力欄が表示された場合)

Administrator のパスワードを入力し、「はい」をクリックします。



補足1.2 電子署名ライブラリ アンインストール手順

- ①デスクトップ上の何もない場所で右クリック→「個人設定」→
「コントロール パネルホーム」をクリックし、表示方法を「カテゴリ」にします。

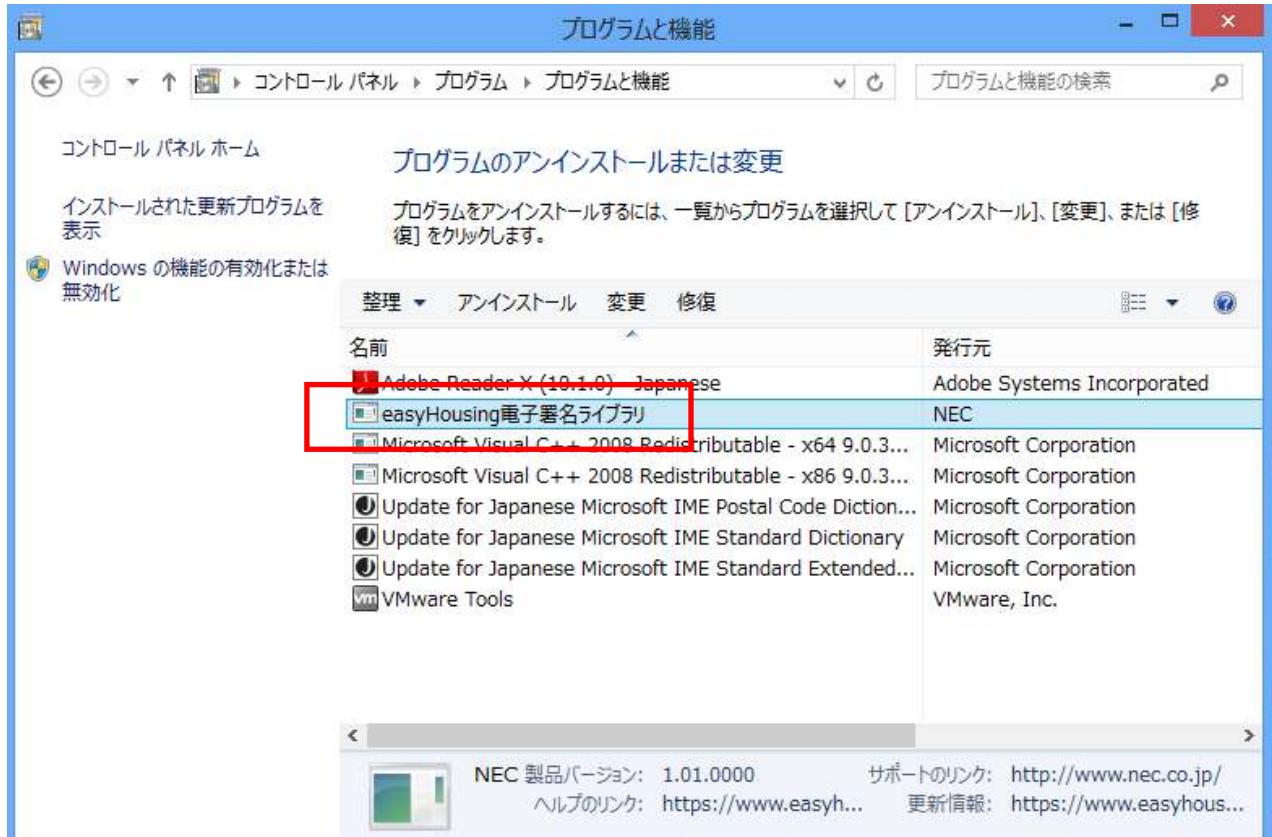




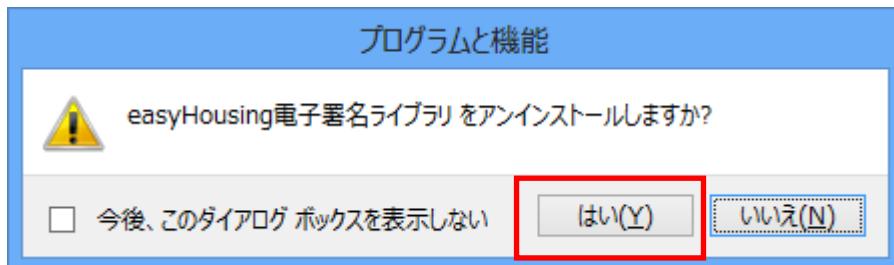
② 「プログラムのアンインストール」をクリックします。



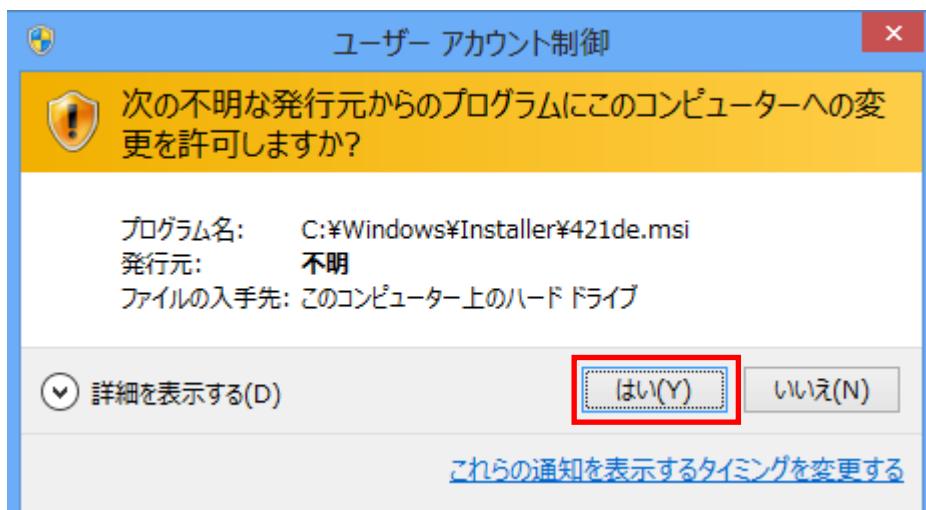
③ 「easyHousing 電子署名ライブラリ」をダブルクリックします。



- ④ 「プログラムと機能」画面が表示された場合は、「はい」をクリックします。



- 以下の画面が表示された場合は、「はい」をクリックします。



(パスワードの入力欄が表示された場合)

Administrator のパスワードを入力し、「はい」をクリックします。



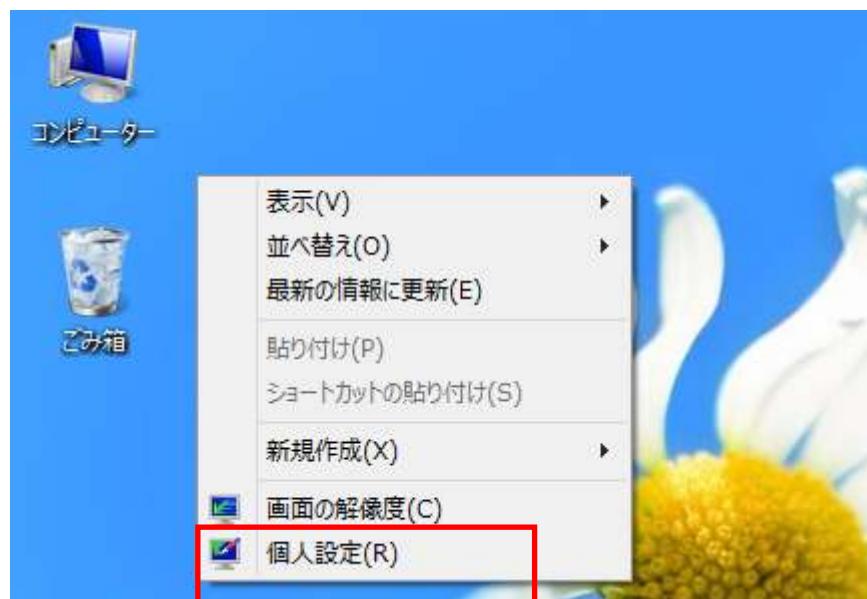
補足2 必要ソフトウェアの更新手順

この章では、各ソフトウェアの更新手順を説明します。

インストール後に更新版が公開され、その使用が推奨されていた場合などに参照して下さい。

補足2.1 Java アップデート手順

- ①デスクトップ上の何もない場所で右クリック→「個人設定」→「コントロール パネルホーム」をクリックし、表示方法を「大きいアイコン」にします。

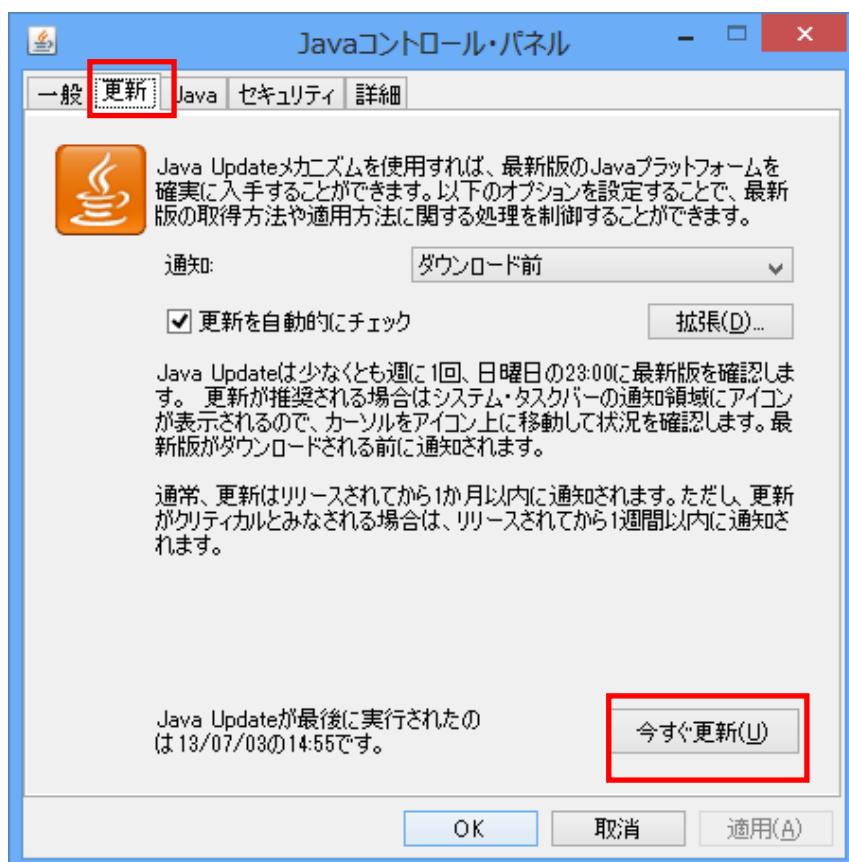




②Java のアイコンをダブルクリックします(次の画面が表示されるまで、数分かかる場合があります)



③Java コントロールパネルの「更新」タブをクリックし、「今すぐ更新」をクリックします。



④以下の画面が表示された場合は、「はい」をクリックして下さい。



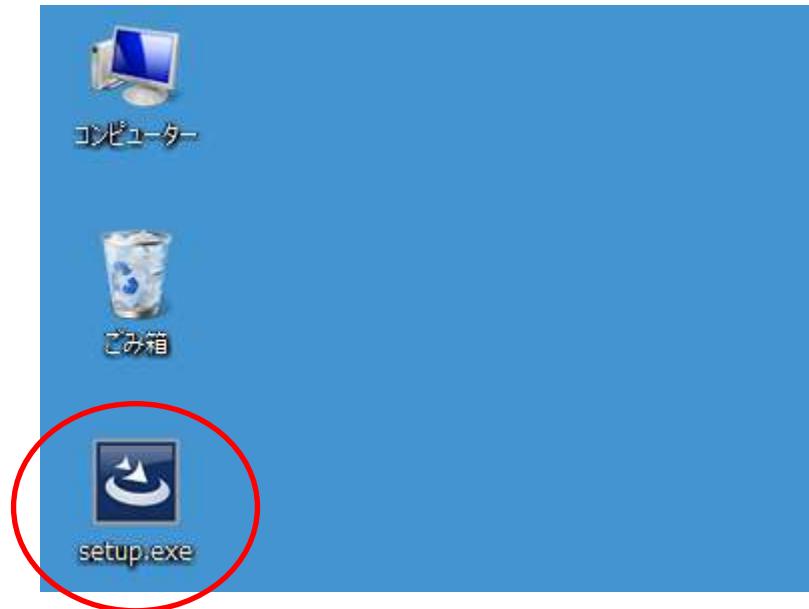
(パスワードの入力欄が表示された場合)

Administrator のパスワードを入力し、「はい」をクリックします。

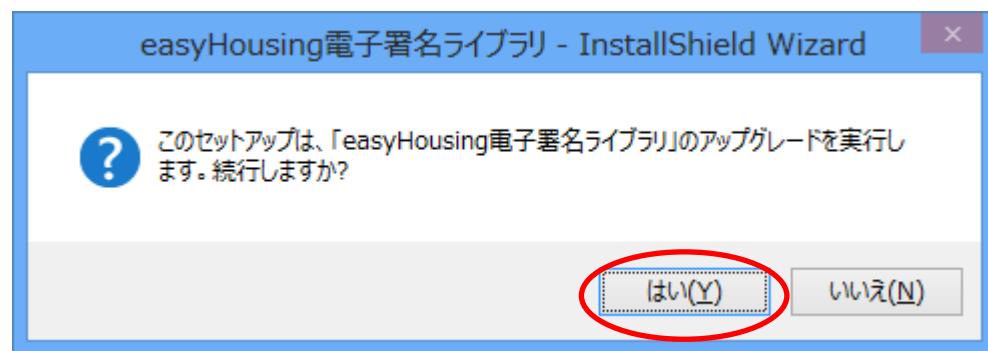


補足2.2 電子署名ライブラリ アップグレード手順

①29 ページ「5.2.1 電子署名ライブラリのダウンロード」の手順で「setup.exe」をダウンロードし、ダブルクリックします。



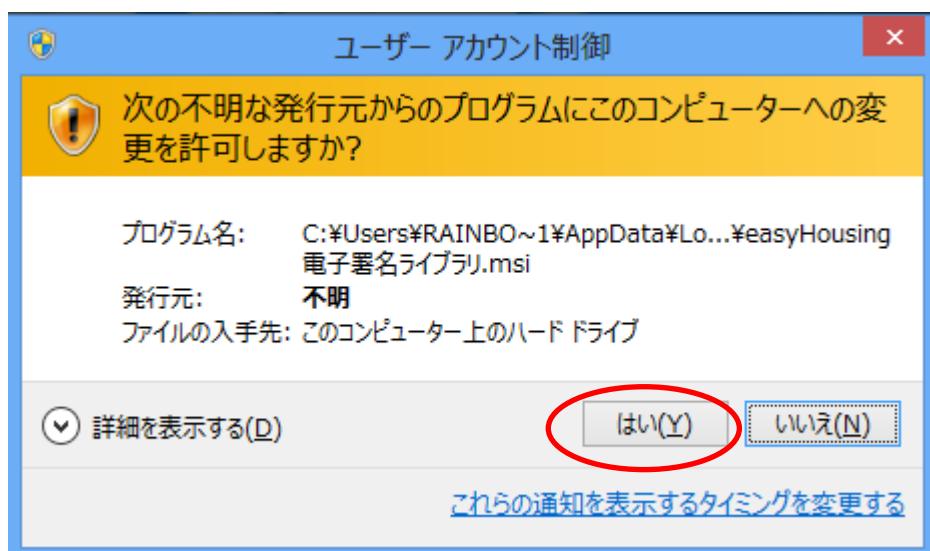
アップグレードの確認画面では、「はい」をクリックします。



②以下の画面では、『次へ』ボタンをクリックします。



以下の画面が表示された場合は、「はい」をクリックします。



(パスワードの入力欄が表示された場合)

Administrator のパスワードを入力し、「はい」をクリックします。



③<InstallShield ウィザードを完了しました>画面が表示されたら、『完了』ボタンをクリックし、アップグレード作業は終了です。



環境設定マニュアル Windows8 編

2014年2月5日 第1.3版

製作／日本電気株式会社

※ Microsoft®、Windows®、Microsoft®Internet Explorer は、米国マイクロソフトコーポレーションの米国及びその他の国における登録商標です。

※ その他、記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。